

官

報

號外

昭和十七年二月四日

○第七十九回 衆議院議事速記録第九號

昭和十七年二月三日(火曜日)

午後一時七分開議

議事日程 第八號

昭和十七年二月三日

午後一時開議

第一 昭和十七年度歳入歳出總豫算案

並昭和十七年度各特別會計歳入歳出

豫算案

第二 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契

約ヲ爲スヲ要スル件

第三 (第一號)昭和十六年度歳入歳出

總豫算追加案

第四 (特第一號)昭和十六年度各特別

會計歳入歳出豫算追加案

第五 (第一號)昭和十七年度歳入歳出

總豫算追加案

第六 (特第一號)昭和十七年度各特別

會計歳入歳出豫算追加案

第七 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔ト

ナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第八 米穀需給調節特別會計法中改正

法律案(政府提出)

第一 読會ノ續(委員長報告)

昭和十七年二月四日 衆議院議事速記録第九號

官報號外

資本臨時補足ニ關スル法律案(政府
提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第十 食糧管理法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

昭和十五年度第一豫備
金支出ノ件

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲
茲ニ掲載ス)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

昭和十五年度第一豫備
金支出ノ件

昭和十五年度特別會計
第一豫備金支出ノ件

昭和十五年度特別會計
第一豫備金支出ノ件

昭和十五年度特別會計
豫備費支出ノ件

昭和十五年度第二豫備
金支出ノ件

昭和十五年度豫備金外
豫備費支出ノ件

種苗國策樹立ニ關スル建議案

提出者

立川 平君 宮崎 一君
高橋 守平君 小串 清一君

(以上二月一日提出)

一去一月三十日東條内閣總理大臣ヨリ左
ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

興亞院部長 宇佐美 珍彦

第七十九回帝國議會政府委員被仰付

一去一月三十日議長ニ於テ辭任ヲ許可シ

タル常任委員左ノ如シ

岡崎久次郎君

第五部選出豫算委員

自昭和十六年十一月五日臨時

第九部選出豫算委員

一去一月三十一日議長ニ於テ選定シタル委
員左ノ如シ

民法中改正法律案(政府提出、貴族院送
付)外一件委員

一去一月三十一日議長ニ於テ選定シタル委
員左ノ如シ

池田七郎兵衛君

岸田 正記君

小山田義孝君

石坂 繁君

木村作次郎君

池田 淸秋君

川副 隆君

高橋 義次君

立川 平君

内藤 正剛君

野村 嘉六君

長井 源君

鹽川 正藏君

馬場 元治君

服部 英明君

馬場 古島 義英君

佐竹 昌藏君

名川 侃市君

松木 松君

佐竹 弘君

菊地養之輔君

北浦圭太郎君

明治二十五年三月二十一日
第三種紙便物認可

一去一月三十一日特別委員理事補闕選舉ノ結果左ノ如シ

國民體力法中改正法律案(政府提出)外四件委員

理事松尾 孝之君(委員星島一郎君去)

一月三十一日理事辭任ニ付其ノ補闕)

一去一日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

第五部選出

豫算委員 石坂 豊一君(岡崎久次郎君補闕)

第九部選出

豫算委員 木檜三四郎君(宮脇長吉君補闕)

一昨二日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)外一件委員

委員長 野村 嘉六君

理事 原 惣兵衛君 鹽川 正藏君

山本 釜吉君 松木 弘君

第一 昭和十七年度歲入歲出總豫算案

一昨二日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)委員

第一 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス

約ヲ爲スヲ要スル件

第三 (第一號)昭和十六年度歲入歲出

總豫算追加案

辭任村松 久義君 補闕大島 實吉君

辭任淺沼稻次郎君 補闕須永 好君

(三笠宮崇仁親王殿下御臨場)

(總員起立敬禮)

カラ、一括議題トナスニ御異議アリマセスカ

ス、日程第一乃至第七ハ豫算案デアリマス

○議長(田子一民君) 是ヨリ會議ヲ開キマ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ〕

○議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマ

ス、日程第一、昭和十七年度歲入歲出總豫

算案並昭和十七年度各特別會計歲入歲出豫

算案、日程第二、豫算外國庫ノ負擔トナル

ベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、日程第三、第

一號、昭和十六年度歲入歲出總豫算追加案

日程第四、特第一號昭和十六年度各特別會

計歲入歲出豫算追加案、日程第五、第一號、

昭和十七年度歲入歲出總豫算追加案、日程

第六、特第一號、昭和十七年度各特別會計

歲入歲出豫算追加案、日程第七、追第一號、

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ

要スル件、右七案ヲ一括シテ議題ト致シマ

ス、豫算委員長ノ報告ヲ求メマス——豫算

委員長松村謙三君

第一 昭和十七年度歲入歲出總豫算案

竝昭和十七年度各特別會計歲入歲出

豫算案

第一 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲

スヲ要スル件

第三 (第一號)昭和十六年度歲入歲出

總豫算追加案

第四 (特第一號)昭和十六年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

第五 (第一號)昭和十七年度歲入歲出豫算追加案

第六 (特第一號)昭和十七年度歲入歲出豫算追加案

第七 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第八 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第九 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第十 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第十一 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第十二 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第十三 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第十四 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第十五 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第十六 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第十七 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第十八 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第十九 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第二十 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第二十一 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第二十二 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第二十三 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第二十四 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第二十五 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第二十六 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第二十七 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第二十八 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

第二十九 (追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

報告書

一(第一號)昭和十六年度各特別會計歲入歲出豫算追加案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和十七年二月二日
豫算委員長 松村 謙三

報告書

一(特第一號)昭和十七年度各特別會計歲入歲出豫算追加案
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和十七年二月一日

豫算委員長 松村 謙三

衆議院議長田子一民殿

報告書

一(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ
キ契約ヲ爲スヲ要スル件、右ノ七件ニ付キ、豫算委
員會ニ於ケル審議ノ經過並ニ結果ヲ御報告
致シマス

豫算委員長 松村 謙三
衆議院議長田子一民殿

昭和十七年二月一日

豫算委員長 松村 謙三

衆議院議長田子一民殿

○松村議三君
衆議院議長田子一民殿
〔松村謙三君登壇〕
○松村議三君
只今議題トナリマシタ昭和
十七年度歲入歲出總豫算案並昭和
各特別會計歲入歲出豫算案、豫算外國庫ノ
負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、第
一號、昭和十六年度歲入歲出總豫算追加案、
特第一號、昭和十六年度各特別會計歲入歲
出豫算追加案、第一號、昭和十七年度歲入
歲出豫算追加案、特第一號、昭和十七年
度各特別會計歲入歲出豫算追加案及ビ追第
增加トナツテ居リマス、而シテ右ノ豫算額
比較致シマスト、歲入ニ於テ六億三千六百
餘万圓、歲出ニ於テ一億七千九百餘万圓ノ
時局ニ鑑ミ緊要ナル經費ノ膨脹ヲ致シタノ

一(追第一號)豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ
キ契約ヲ爲スヲ要スル件、右ノ七件ニ付キ、豫算委
員會ニ於ケル審議ノ經過並ニ結果ヲ御報告
致シマス
先づ昭和十六年度歲入歲出總豫算追加案
ニ計上致シテ居リマスル金額ハ、歲入百三十
萬圓、歲出一億四千二百十餘万圓デア
リマシテ、差引一億四千七十餘万圓ノ歲出
超過トナツテ居リマスガ、是ハ昭和十六年
度豫算實行上ノ歲入超過額ノ中ヨリ充當ス
ル計畫トナツテ居リマス、歲出追加額ノ主
ナル事項ヲ申上ダマスレバ、災害土木費補
助ノ增加、鐵鋼原料ノ補償ニ要スル經費、
重要物資管理ニ要スル經費等デアリマス
次ニ昭和十七年度歲入歲出總豫算案ト、
昭和十七年度歲入歲出總豫算追加案トニ付
テ申上ゲル順序デアリマスガ、昭和十七年
度一般會計豫算ノ全貌ヲ明カニスルガ爲
ニ、過日成立致シマシタ臨時軍事費關係ノ
昭和十七年度歲入歲出總豫算追加ヲモ加ヘ
マシタモノニ付キ、以下其ノ大要ヲ申上ダ
ルコト致シマス、昭和十七年度一般會計
豫算額ハ、歲入歲出共各、八十八億三千七百
億一千九百餘万圓ガ見込マレテ居ル次第デ
案ニ依ル增收額トヲ合算致シマシテ、十四
億一千九百餘万圓ニ於テ一億三千二百餘万
圓、國庫豫備金ニ於テ五億千万圓、其ノ他ノ
經費ニ於テ四億九千四百餘万圓トナツテ居
マシテ、時局ニ關スル經費ノ增加ガ其ノ主
要ナル部分ヲ占メテ居リマス、而シテ其ノ
他ノ經費ニ於ケル増加ハ、生產力擴充、低
物價維持、產業再編成、國民保健、重要物
資貯藏、軍人援護、科學技術振興、防空等
增加トナツテ居リマス、而シテ右ノ豫算額
比較致シマスト、歲入ニ於テ六億三千六百
餘万圓、歲出ニ於テ一億七千九百餘万圓ノ
時局ニ鑑ミ緊要ナル經費ノ膨脹ヲ致シタノ

ニ過日成立致シマシタ臨時軍事費豫算追加
案モ申上ダマシタ通り、二百六十八億三千
七百餘万圓トナリ、是ヨリ一般會計及ビ臨
時軍事費特別會計間ニ於テ重複スル金額ト
ナツテ居リマス所ノ一般會計ヨリ臨時軍事
費特別會計へ繰入額二十五億二千五百餘万
圓ヲ控除致シマスレバ、二百四十三億千百
餘万圓ト相成ルノデゴザイマス
先づ歲入豫算ノ内訳ヲ申シマスト、租稅
其ノ他ノ普通歲入ガ七十二億五千七百餘万
圓、公債金ガ十五億二千六百餘万圓、借入
金ガ五千四百万圓デアリマシテ、右ノ普通
歲入ハ、之ヲ前年度豫算額ニ比較致シマス
ナラバ、二十一億三千餘万圓ノ增加デアリ
マス、是ハ主トシテ租稅收入ノ增加ニ基ク
モノデアリマシテ、就中前年度ニ實施致シ
マシタ間接稅中心ノ增稅ニ基キマスル本年
度ノ增收額ト、本議會ニ於テ審議中ノ增稅
案ニ依ル増收額トヲ合算致シマシテ、十四
億一千九百餘万圓ニ於テ一億三千二百餘万
圓、國庫豫備金ニ於テ五億千万圓、其ノ他ノ
經費ニ於テ四億九千四百餘万圓トナツテ居
マシテ、時局ニ關スル經費ノ增加ガ其ノ主
要ナル部分ヲ占メテ居リマス、而シテ其ノ
他ノ經費ニ於ケル増加ハ、生產力擴充、低
物價維持、產業再編成、國民保健、重要物
資貯藏、軍人援護、科學技術振興、防空等
增加トナツテ居リマス、而シテ右ノ豫算額
比較致シマスト、歲入ニ於テ六億三千六百
餘万圓、歲出ニ於テ一億七千九百餘万圓ノ
時局ニ鑑ミ緊要ナル經費ノ膨脹ヲ致シタノ

次ニ歲出豫算額ノ前年度豫算額ニ對スル増
加ハ、只今申上ダマシタ通り一億七千九百
餘万圓デアリマスガ、陸海軍ノ經費ニ付キ
マシテハ、大東亞戰爭ノ勃發ニ因ル兩省所
管各部ノ全面的戰時態勢化ニ伴ヒマシテ若
干ノ例外ヲ除キ、其ノ殆下全部ヲ臨時軍事
費ニ計上致シテ居リマスノデ、兩省所管ノ
經費ハ前年度ニ比シ、三十一億七千百餘万
圓ヲ減少シテ居リマス、隨ヒマシテ他ノ各省
所管ノ經費ニ於キマシテハ、三十三億五千百
餘万圓ヲ增加シテ居ルコトニナリマス、但シ
此ノ内、臨時軍事費特別會計へ繰入ノ前年
度ニ比シ増加シタル金額十六億四千百餘万
圓ハ、通拔ケ勘定デアリマスカラ之ヲ控除致
シマスレバ、差引十七億千餘万圓ノ增加ト
ナリマス、今其ノ内訳ヲ見マスレバ、國債
費ニ於テ五億五千四百餘万圓、年金及ビ恩
シマスレバ、差引十七億千餘万圓ノ增加ト
ナリマス、今其ノ内訳ヲ見マスレバ、國債
給ニ於テ一千七百餘万圓、地方分與稅分與金
特別會計ヘノ繰入ニ於テ一億三千二百餘万
圓、國庫豫備金ニ於テ五億千万圓、其ノ他ノ
經費ニ於テ四億九千四百餘万圓トナツテ居
マシテ、時局ニ關スル經費ノ增加ガ其ノ主
要ナル部分ヲ占メテ居リマス、而シテ其ノ
他ノ經費ニ於ケル増加ハ、生產力擴充、低
物價維持、產業再編成、國民保健、重要物
資貯藏、軍人援護、科學技術振興、防空等
增加トナツテ居リマス、而シテ右ノ豫算額
比較致シマスト、歲入ニ於テ六億三千六百
餘万圓、歲出ニ於テ一億七千九百餘万圓ノ
時局ニ鑑ミ緊要ナル經費ノ膨脹ヲ致シタノ

ニ因ルノデアリマス、爾餘ノ昭和十七年度各特別會計歲入歲出豫算案外四件ニ付キマシテハ、其ノ説明ヲ省略致シマス
斯クテ豫算委員會ハ、一月二十一日ヨリ開會致シ、同三十日ニ質疑ヲ終了シ、三十一日、一月一日ノ一日間分科會ヲ開キマシタ、今日ノ如キ時局デゴザイマスカラ、理事會ニ於キマシテモ種々審議ノ進行ニ苦心ヲ致シ、軍國ノ議會タルニ鑑ミ、其ノ急務ニ應ズル議會ノ機能ヲ十分發揮シタイト存ジマシテ、或ハ質疑ヲ重大ナル問題ニ集中シ、又ハ總理大臣、陸海軍大臣ハ軍國ノ重大ナル際デアリマスカラ、從來ノ通り始終本委員會ニ出席困難ノ場合ガアルコトヲ想定シテ、是等ノ大臣ニ對スル質疑ハ、其ノ出席シ得ル日ヲ定メテ集中シテ行ヒ、一面十分等ノ直接ノ大臣ガ緊要ナル軍務ヲ執掌スルニ支障ナキヲ期シタノデゴザイマス、幸ヒ委員諸君ノ非常ナル精勵ニ依リマシテ、本十日間ニシテ議事ヲ終リ、而モ此ノ重大ナル時局ニ對處スル國政ニ關シ凡ユル審議ヲ盡豫算案及ビ各種ノ追加豫算案ヲ併セ僅カニシ得タコトハ、最モ欣幸トスル所デゴザイマス

是ヨリ委員會審議ノ内容ニ付テ主ナ問題ヲ取上げテ簡單ニ御報告申シタイト存ジマス、先づ現政府ガ國家内外ノ現狀ニ對シテ施政ノ根本觀念ヲ何處ニ持ツテ居ラルカソレハ本委員會ノ中途ニ於テ或ル委員ノ質問ニ對シ東條總理大臣ハ極メテ率直ニ自己ノ國政ニ對スル心境ヲ披瀝シテ居ラレマス、其ノ一節ヲ速記カラ朗讀致シマス「十一月八日ヲ以テ大戰ノ詔書ガ發セラレ、茲ニ眞ノ大戰爭ニ今突入致シテ居リマス、施政ノ第一ノ着眼ハ、此ノ戰爭ニ勝ツコトデアリマス(拍手)凡ユル重點ヲ之ニ集中シテ居リマス、又ソレニ次イデ言ツテ居リマス、施政ノ主體ヲ私ハ之ニ置イテ居リマス、又第二ノ主體ハ國內ヲ纏メルコトデアリマス、一億一心ヲ具現シテ行クコトデス、隨ヒマシテ私ハ總理大臣トシマシテ、凡ニル國政ニ對シマシテハ、總理大臣ト云フモノノ責任ニ於キマシテハ全幅ノ責任ヲ執リマス、併シナガラ施政ノ重點ハ今ノ二點ニ置イテ居ルノデアリマス、八分ノ力ハソレニ置イテ居リマス、隨ヒマシテ國內問題ト云フモノニ付キマシテハ、實ハ私ハ率直ニ申シマスト、二分ノ力シカ盡シテ居リマセヌ、是ハ皆様方ガ十分御協力シテ戴クトシテ安心ラシテ居ルノデアリマス(拍手)併シナガラ國內問題モ勿論重大デアリマスノデ、研究ハヤラシテ居リマス、或ル一段落ガ付キ、茲ニ大東亞ノ戰爭ハ確實ニ目途ガ付キ、

茲ニ大東亞ノ基礎ガ鬼ニ角興ヘ得タト云フコトニナリマスレバ、其ノ際ニ振返ツテ又ソレハ本委員會ノ中途ニ於テ或ル委員ノ質問ニ對シ東條總理大臣ハ極メテ率直ニ自己ノ國政ニ對スル心境ヲ披瀝シテ居ラレマス、其ノ一節ヲ速記カラ朗讀致シマス「十一月八日ヲ以テ大戰ノ詔書ガ發セラレ、茲ニ眞ノ大戰爭ニ今突入致シテ居リマス、施政ノ第一ノ着眼ハ、此ノ戰爭ニ勝ツコトデアリマス(拍手)凡ユル重點ヲ之ニ集中シテ居リマス、又ソレニ次イデ言ツテ居リマス、施政ノ主體ヲ私ハ之ニ置イテ居リマス、又第二ノ主體ハ國內ヲ纏メルコトデアリマス、一億一心ヲ具現シテ行クコトデス、隨ヒマシテ私ハ總理大臣トシマシテ、凡ニル國政ニ對シマシテハ、總理大臣ト云フモノノ責任ニ於キマシテハ全幅ノ責任ヲ執リマス、併シナガラ施政ノ重點ハ今ノ二點ニ置イテ居ルノデアリマス、八分ノ力ハソレニ置イテ居リマス、隨ヒマシテ國內問題ト云フモノニ付キマシテハ、實ハ私ハ率直ニ申シマスト、二分ノ力シカ盡シテ居リマセヌ、是ハ皆様方ガ十分御協力シテ戴クトシテ安心ラシテ居ルノデアリマス(拍手)併シナガラ國內問題モ勿論重大デアリマスノデ、研究ハヤラシテ居リマス、或ル一段落ガ付キ、茲ニ大東亞ノ戰爭ハ確實ニ目途ガ付キ、

部總理大臣ヲ中心トシテ、此ノ大問題ノ検討ニ費シタルノミナラズ、全期間ヲ通ジテ豫算總會ヲ通ジテ審議ノ中心トナリマシテアリマス、其ノ結果本議會ニ於ケル政府ノ施政方針ニ述ベラレタ大東亞建設ノ輪廓ニ含マレル内容ヲ略明カニスルコトヲ得タノデアリマス、即チ總理大臣、其ノ他關係大臣ノ答辯ヲ綜合致シマスト、大東亞共榮圈研究ハ十分シテ居リマス」云々ト言ツテ居葉ハ「勿論此ノ大キナ八分ノ力ヲ投ジテ居リマス、又ソレニ次イデ言ツテ居リマス言葉ハ「勿論此ノ大キナ八分ノ力ヲ投ジテ居リマス所ノニツノ目的ヲ完遂スル上ニ於キマシテ、ドウシテモ變ヘネバナラヌト云フマシテ、ドウシテモ變ヘネバナラヌト云フ點ハ、是ハ逐次變ヘテ居リマス、唯茲ニ特ニ懸念シテ居リマスコトハ、之ニ依ツテ國政ガ一瞬デモ停頓シテハ困ルト云フ點ヲ他面ニ顧慮シツツ之ニ當ツテ居ル次第デアリマス」此ノヤウニ由ナレテ居リマス、是ハ行政機構改革問題ニ對スル答辯ノ一節デアリマスガ、何等節ル所ナク總理大臣ノ施政リマスガ、何等節ル所ナク總理大臣ノ施政ノ着眼、心持ガ分ルト思ヒマス、又實際本委員會ニ於ケル政府ノ説明ナリ、方針ナリ、ウデアリマスカラ、先づ緒論トシテ第一ニガ、此ノ趣旨ニ一貫シテ徹底致シテ居ルヤガ、此ノ趣旨ニ一貫シテ徹底致シテ居ルヤウデアリマスカラ、先づ緒論トシテ第一ニ御紹介申ス次第デゴザイマス(拍手)

豫算總會ヲ通ジテ審議ノ中心トナリマシタモノハ、大東亞共榮圈ノ建設ニ關スル問題デアリマス、其ノ爲ニ質疑ノ第一日ヲ全我ガ方ニ對スル協力ヲ誘導スルコトニ重點

ヲ置キ、日滿支ノ經濟建設計畫ヲ骨幹トシテ、之ニ新タニ我が勢力圈内ニ入り來ル南方地域ヲ併セテ一大計畫ヲ樹立シテ、實行ニ移サントスルモノデアリマス、其ノ計畫ニ基ク物資ハ之ヲ物動計畫ニ繰入レ、國家當者ハ、是ハ許可主義トシテ、嘗テ南方ニ國防經濟力トシテ、之ヲ一元的ニ運用シテ行クノデアリマス、而シテ南方開發ノ擔當者ハ、是ハ許可主義トシテ、嘗テ南方ニ經驗ヲ有シ、此ノ大建設ニ理解アル者ヲ先ニシ、更ニ適宜必要ニ應ジ新タル者ノ進出ヲ許スコトニスル、斯ウ云フコトデアリマス、又通貨ハ現地ノ其ノ所々ノ通貨ニ「マーク」シタ軍票ヲ以テシ、軍票ト現地ノマス、又通貨ハ現地ノ其ノ所々ノ通貨ニ

當者ハ、是ハ許可主義トシテ、嘗テ南方ニ經驗ヲ有シ、此ノ大建設ニ理解アル者ヲ先ニシ、更ニ適宜必要ニ應ジ新タル者ノ進出ヲ許スコトニスル、斯ウ云フコトデアリマス、又通貨ハ現地ノ其ノ所々ノ通貨ニ「マーク」シタ軍票ヲ以テシ、軍票ト現地ノマス、又通貨ハ現地ノ其ノ所々ノ通貨ニ

ニシテ、其ノ他ノ物資ノ運輸ハ極メテ制約セラルノデアリマス、船舶ノ問題ハ斯クノ如ク焦眉ノ急デアリマスガ、遞信大臣ノ説明ニ依リマスレバ、造船計畫ノ數字ハ申サレマセヌガ、此ノ一、二箇年間ノ造船ノ實績ヨリモ、遙ニ大ナルモノヲ必ズ實現出來ルト申シテ居リマス、尙ホ此ノ大東亞建設ニ關シテハ種々重大ナル質疑應答ガアリマシタガ、是ハ略シマス、要スルニ今ハ緒戦勿勿ノ時代デゴザイマシテ、大ナル建設の方策ハ今後ニ残サレテ居リマス、朝野ノ知識手ノ政府ハ之ニ應ズル中央機關ト申シマスカ、之ニ類シタツノ施策ヲ目下至急ニ考案申デアルト申シテ居リマス

尙ホ外交ニ關シマシテハ、東鄉外務大臣ヨリ米英ニ對シテハ、軍事ト並行シテ外交的ニ十分最善ノ努力ヲナス旨ヲ述べラレ、又ツテ之ヲ貯藏シ、他面生産ヲ制限スルト同時ニ、東亞ノ諸民族ニモ此ノ大東亞ノ建設ニ協力セシメテ、將來ノ康福ノ爲ニ一時ノ苦痛ヲ忍バシメナクテハナラナイトノ方針デアリマス、唯是等ノ開發ニ最モ困難ナル苦痛ヲ忍バシメナクテハナラナイトノ方針守スルモノデアルコトヲ一再ナラズ言明サト」政府ニ於テ大東亞戰爭勃發後モ、之ヲ嚴マシタ、又最近ニ於キマシテモ「ソ」聯ノ大使ト此ノ點ニ付テ篤ト懇談フ致シタ譯テ、勢ヒ現在ノ狀態ニテハ專ラ國防資源ノ運輸

ヲ置キ、日滿支ノ經濟建設計畫ヲ骨幹トシテ、其ノ他ノ物資ノ運輸ハ極メテ制約セラルノデアリマス、船舶ノ問題ハ斯クノ如ク焦眉ノ急デアリマスガ、遞信大臣ノ説明ニ基ク物資ハ之ヲ物動計畫ニ繰入レ、國家當者ハ、是ハ許可主義トシテ、嘗テ南方ニ經驗ヲ有シ、此ノ大建設ニ理解アル者ヲ先ニシ、更ニ適宜必要ニ應ジ新タル者ノ進出ヲ許スコトニスル、斯ウ云フコトデアリマス、又通貨ハ現地ノ其ノ所々ノ通貨ニ「マーク」シタ軍票ヲ以テシ、軍票ト現地ノマス、又通貨ハ現地ノ其ノ所々ノ通貨ニ

ニ限定セラルハ已ムヲ得ザル所デアリマシテ、其ノ他ノ物資ノ運輸ハ極メテ制約セラルノデアリマス、船舶ノ問題ハ斯クノ如ク焦眉ノ急デアリマスガ、遞信大臣ノ説明ニ依リマスレバ、造船計畫ノ數字ハ申サレマセヌガ、此ノ一、二箇年間ノ造船ノ實績ヨリモ、遙ニ大ナルモノヲ必ズ實現出來ルト申シテ居リマス、尙ホ此ノ大東亞建設ニ關シテハ種々重大ナル質疑應答ガアリマシタガ、是ハ略シマス、要スルニ今ハ緒戦勿勿ノ時代デゴザイマシテ、大ナル建設の方策ハ今後ニ残サレテ居リマス、朝野ノ知識手ノ政府ハ之ニ應ズル中央機關ト申シマスカ、之ニ類シタツノ施策ヲ目下至急ニ考案申デアルト申シテ居リマス

此ノ邊ニ付テハ何等變化ハナイト御承知ヲ願ヒタイトノ言明ガアリマシタ

軍事ニ關シマシテハ、豫算總會及ビ分科會ニ於テ屢々祕密會ヲ開イテ説明ヲ聽キマシタガ、此處ニ發表スル限リデハゴザイマセヌ、唯

ヨリモ、遙ニ大ナルモノヲ必ズ實現出來ルマセヌガ、此ノ一、二箇年間ノ造船ノ實績ヨリモ、遙ニ大ナルモノヲ必ズ實現出來ルト申シテ居リマス、尙ホ此ノ大東亞建設ニ關シテハ種々重大ナル質疑應答ガアリマシタガ、是ハ略シマス、要スルニ今ハ緒戦勿勿ノ時代デゴザイマシテ、大ナル建設の方策ハ今後ニ残サレテ居リマス、朝野ノ知識手ノ政府ハ之ニ應ズル中央機關ト申シマスカ、之ニ類シタツノ施策ヲ目下至急ニ考案申デアルト申シテ居リマス

事變發生以來陸海軍ニ對スル獻金ハ、國防獻金ニ於テ總計一億五百六十六万圓、恤兵勵金千五百十六万圓、合計三億千五百四十萬圓ニ上ツテ居リマス、殊ニ今回ノ大戰爭

開始以來ノ獻金ハ、僅カニ一箇月有餘ノ間に、陸海合セテ八千七十餘万圓ノ巨額ニ上ツテ居リマス（拍手）以テ如何ニ國民ガ陸海軍ノ忠戰ニ感謝シ、戰爭目的ノ完遂ニ愛國ノ熱意ヲ發揮セルカラ知ルベク、茲ニ特ニ御報告申上ゲテ置ク次第デアリマス

實行豫算ニ付テハ勿論今ハ之ヲ編成スル考へハ持ツテ居ラスト申シテ居リマス、貯蓄獎勵、公債消化ハ戰時經濟ノ最モ重大ナル要點デアリマシテ、明年度ノ公債發行高ハ百六十億ニ上リ、十六年度ノ未發行公債ト

會ニ於ケル政府ノ説明ニ依リマスレバ、支那事變發生以來陸海軍ニ對スル獻金ハ、國防獻金ニ於テ總計一億五百六十六万圓、恤兵勵金千五百十六万圓、合計三億千五百四十萬圓ニ上ツテ居リマス、殊ニ今回ノ大戰爭開始以來ノ獻金ハ、僅カニ一箇月有餘ノ間に、陸海合セテ八千七十餘万圓ノ巨額ニ上ツテ居リマス（拍手）以テ如何ニ國民ガ陸海軍ノ忠戰ニ感謝シ、戰爭目的ノ完遂ニ愛國ノ熱意ヲ發揮セルカラ知ルベク、茲ニ特ニ御報告申上ゲテ置ク次第デアリマス

財政ノ諸問題ニ付キマシテハ、是マデノヤウニ技術的ノ質疑ハ割合ニ少クアリマシタガ、大東亞ヲ中心トシテ、我ガ財政ノ將來ヲ見タル意見ガ相當ニアリマシタ、其ノ一部ハ既ニ大東亞建設ノ所ニ申述ベテ置キマシタ通リ、同會計終結ノ際マテ行ハナイマス、隨ヒマシテ決算ハ法律ニ定メラレノデアリマスガ、但シ經理ノ監督ニ付キマシテハ、陸海軍共適當ノ機關ニ於テ嚴重ナル監查ノ方法ヲ執リ、更ニ會計檢查院ノ検査モ行ハレテ居ルトノコトデアリマス、尙ホ南方開發軍事費ノ融通ヲ受クル會社ノ經理ニ關スル監督モ軍ニ於テ實行スル用意ヲシテ居ルトノコトデアリマス、質疑ヲナ

官報號外 昭和十七年一月四日 衆議院議事速記録第九號 昭和十七年歲入歲出總豫算案並昭和十七年歲入歲出豫算案外六件

セル委員ニ於テモ之ニ満足ヲ表スルト共ニ、此ノ上トモ萬遺漏ナキヲ期セラレタイトノ希望ガアリマシタ

次ニ經濟關係ノ諸問題デアリマス、商工、

鑑業ノ關係ニ付キマシテ最モ多ク問題トナリマシタノハ、統制會ノ問題デアリマスガ、

之ニ關スル質疑ハ、殆ド全部ガ統制會ト他ノ組織機構トノ關係ニ付テデアリマシタ、政

府ノ答辯ヲ申上ゲマスナラバ、國策會社ト統制會トノ關係ニ付キマシテハ、國策會社

ノ組織機構トノ關係ニ付テデアリマシタ、政

府ノ答辯ヲ申上ゲマスナラバ、國策

會社ト統制會トノ關係ニ付キマシテハ、國策會社ト雖モ統制會長ノ指導下ニ附カネバナラ

コト、勞務統制ニ關聯シテ、產業報國會ト

會社ト統制會トノ關係ニ付キマシテハ、國策會社

ト雖モ統制會長ノ指導下ニ附カネバナラ

コト、勞務統制ニ付キマシテハ、國策會社

ト雖モ統制會長ノ指導下ニ附カネバナラ

コト、勞務統制ニ付キマシテハ、國策會社

ト雖モ統制會長ノ指導下ニ附カネバナラ

コト、勞務統制ニ付キマシテハ、國策會社

ト雖モ統制會長ノ指導下ニ附カネバナラ

コト、勞務統制ニ付キマシテハ、國策會社

ト雖モ統制會長ノ指導下ニ附カネバナラ

コト、勞務統制ニ付キマシテハ、國策會社

ト雖モ統制會長ノ指導下ニ附カネバナラ

コト、勞務統制ニ付キマシテハ、國策會社

ト雖モ統制會長ノ指導下ニ附カネバナラ

ガラ、實ハ單純ナル商法上ノ會社ニ過ギナ

イ各種ノ統制會社ニ對スル監督ニ付キ、目

下總動員法ニ基ク勅令ヲ以テ、是ガ規定ヲ

整備スル手配ヲ致シテ居ル旨ノ言明ガアリ

マシタ

中小商工業者ノ轉廢業問題ニ關シテモ亦

多數ノ委員カラ様々ノ質疑ガアリマシタガ、

政府ト致シマシテハ、單ニ中小商工業ナル

ガ故ニ、全般的ニ之ヲ再編成シナケレバナ

ラスト云フヤウナ考へハ持ツテ居ナイ、必

要ナ部門ダケニ於テ必要ナ限ルベキ

コトハ言フヲ俟タナイト云フ答辯デアリマ

ス、尙ホ轉廢業者ノ南方ヘノ進出ニ關シ

ノ關係ニ付キマシテハ、統制會ハ各種產業

ニ付キ縱斷的ニ統制ヲシ、產業報國會ハ產

業全體的ニ橫斷的ニ統制スルコト、商業組

合及ビ工業組合トノ關係ニ付キマシテハ、

將來是等ヲ統制會ノ下部機構タラシムルト

云フ着意ヲ以テ目下研究中デアリマスガ、

此ノ外生産力ノ擴充、重要物資ノ國家管

理、石油ノ問題、取引所問題、日本銀行

改組ノ問題、戰時金融金庫ノ設立ニ伴フ

各種金融機關ノ機能ノ變化等ノ諸問題ニ付

テ質疑應答ガ行ハレマシタ

又農業上ノ諸問題ニ付テモ活潑ナル質疑

ガ行ハレマシタ、例ヘバ適正農業經營ノ問

題、農業團體統合ノ問題、重要ナル肥料ノ

問題、資材配給ノ問題、農業保險制度ノ改

革、農業國策會社ノ整理等ノ諸問題ニ付テ

極メテ眞摯ナル質疑ガアリマシタ、又食糧

問題ニ付テハ、日本内外地ヲ通ジテ自給自

足ヲ圖ル根本方針ニハ變リノナイコト、又

肥料ニ付キマシテハ、昨年ニ比シ本年ハ多少

減少ハ致シマスガ、本年ノ秋、更ニ來春以

降ニハ漸次好轉スル見込デアルトノコトデ

ゴザイマス、是等ノ諸問題ハ、他ノ農業關

係ノ委員會ニ於テ更ニ詳細ニ論ゼラレテ居

ルヤウデアリマスカラ、茲ニ詳シク報告ス

ルコトヲ止ヌマス、唯一ツ御注意ヲ喚起致

シテ置キタイト思ヒマスコトハ、土地問題

ニ關スル議論ガ例年ノ豫算委員會ヨリモ一

層多クナリマシテ、凡ユル角度ヨリノ發言

ガアリマシタ、是ハ注意スベキ傾向トシテ

御報告申上げテ置キマス

尙ホ國內問題ニ付テ種々ノ點ニ於テ論議

セラレマシタガ、之ヲ省略シ、唯一、二ノ

主要ナル問題ニ付テ御報告致シマス、其ノ

第一ハ、行政機構改革ノ問題デアリマスガ、

之ニ對シテ政府ハ、從來ト同様改革ノ必要

デアルコトハ認メルガ、事態ガ斯クノ如ク

大戰爭ニ突入シタ以上、戰爭ニ勝ツコトガ

主ナル目的デアツテ、國內問題ニ付キ大ナ

ル改革ヲヤツテ、一瞬ニテモ國政ガ停頓シ

テハ困ル、機構ヨリモ寧ロ人ガ仕事ヲスル

ノデアルカラ、現在ノ機構デモ十分ヤツテ

行ケルト思フ、併シ戰時必要ノ部分ハ勿論

之ニ應ジテ改メルト云フコトデアリマス

ガラ、實ハ單純ナル商法上ノ會社ニ過ギナ

役人ノ獨善的傾向並ニ下剋上の風潮ヲ一掃シ、官吏ノ中ノ極メ一部ノ少數者デアラ

シ、官吏ノ中ノ極メ一部ノ少數者デアラ

潤等ノ危險ガアツテハ洵ニ國家ノ憂デアル

カラ、眞ニ國家ノ爲挺身奉公スルヤウニ

ニ對シマシテ、總理大臣ハ、大部分ノ官吏

ガアツテハナラスト、事例ヲ擧ゲテノ質疑

ニ對シマシテ、陛下ニ對シ奉リ相濟マヌノデ、身ヲ

ハ洵ニ精勵デアルガ、一部ノ人ガ間違ツテ

ガアツテハナラスト、事例ヲ擧ゲテノ質疑

ニ對シマシテ、陛下ニ對シ奉リ相濟マヌノデ、身ヲ

以テ下ヲ感化シ、斯クノ如ク不正ノ道ニ踏

ミ入ルコトナキヤウ防止シナクテハナラナ

イ、一面峻嚴ナル取締ヲナスト共ニ、一方

ハ溫カイ餘裕ヲ以テ、不正ナカラシムルヤ

ウ努メタイトノコトデゴザイマス(拍手)

最後ニ大政翼賛會ノ性格及び運營ノ問題

デアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテ各派

ヲ代表スル理事ノ協議ニ基キマシテ、委員

長ヨリ大綱ニ付キ總理大臣ニ質疑ヲ致シタ

ノデアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテ各派

付キマシテハ、既ニ第七十六回帝國議會ニ

於テ十分ニ討議セラレ、政府ハ、大政翼賛

會ハ治安警察法第三條ノ公事結社デアルコ

ト、隨テ治安警察法第一條ノ政事結社、之

ニ該當スルガ如キ政治運動ハ、大政翼賛會

ニ於テハナスベキモノニアラザルコト、斯
ノ如キ政治活動ヲナシタル場合ニハ、嚴重
ニ之ニ對シテ取締ヲナスベキコトヲ明確ニ
宣明致シテ居リマス、爾來一箇年ニナリマ
スガ、尙ホ實際上色々ノ問題ヲ生ジ、或ハ
憲法上ノ機關ト抵觸シ、或ハ行政上ノ領域

ト相侵スガ如キ疑ヒヲ生ズルヤウナコトガ
アリマシテハナリマセヌ、今日ノ場合更ニ
大政翼賛會ノ性格ヲ明瞭ニシ、之ヲ統制シ
テ、其ノ標榜スル方針ト、其ノ實質トヲ完
全ニ一致セシメテ、一切ノ疑惑ヲ解キ、眞

ニ一致セシメテ、今日ノ場合更ニ
大政翼賛會ノ性格ヲ明瞭ニシ、之ヲ統制シ
テ、其ノ標榜スル方針ト、其ノ實質トヲ完
全ニ一致セシメテ、一切ノ疑惑ヲ解キ、眞

ニ一致セシメテ、今日ノ場合更ニ
大政翼賛會ノ性格ヲ明瞭ニシ、之ヲ統制シ
テ、其ノ標榜スル方針ト、其ノ實質トヲ完
全ニ一致セシメテ、一切ノ疑惑ヲ解キ、眞

ニ一致セシメテ、今日ノ場合更ニ
大政翼賛會ノ性格ヲ明瞭ニシ、之ヲ統制シ
テ、其ノ標榜スル方針ト、其ノ實質トヲ完
全ニ一致セシメテ、一切ノ疑惑ヲ解キ、眞

ノ關係ニ於キマシテハ、公事ニ關スル結社

トシテ取扱フベキモノト考ヘマス、而シテ
翼賛會ハ此ノ趣旨ニ於キマシテ、其ノ職分
ヲ守ツテ活動スルヤウ從來モ指導シテ參ツ

テ居ルノデアリマスルガ、將來モ以上ノ趣

旨ノ下ニ指導シテ參リタイト存ズルノデア
リマス」トノ答辯デゴザイマス、尙ホ此ノ

答辯ノ歸結トシテ翼賛壯年團及ビ大日本興
亞同盟ノ性格モ政事ニ關スル結社デハナク、
治安警察法ノ關係ニ於キマシテハ、公事ニ
關スル結社トシテ翼賛壯年團及ビ大日本興
亞同盟ノ性格モ政事ニ關スル結社デハナク、
治安警察法ノ關係ニ於キマシテハ、公事ニ

科主査ヨリ審査ノ結果ノ報告ガアリマシタ
後、各案ヲ一括シテ討論ニ入り、木原七郎
君、鈴木文治君、中村高一君及ビ水谷長三
郎君ヨリ各、所屬會派ヲ代表シテ、原案賛成
ノ意見ヲ述べラレ、採決ニ入りマシタ、原

案賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メタル所、起立總
員、即チ全員一致ヲ以テ可決致シマシタ
(拍手)此ノ段御報告申上げマス(拍手)
○議長(田子一民君) 是ヨリ討論ニ入り
マス——木暮武太夫君

超エテ候補者推舉ニ關係シタル場合ハドウ
カトノ質問ニ對シテハ、翼賛會トシテ選舉
運動ヲナスベキモノニアラズトノ答辯デゴ
ザイマス、尙ホ翼賛會關係者ノ立候補ノ問
題ニ付テハ、出來得ル限リ制限ヲ加ヘザル
ヲ可トスルトノ説明デアリマシタガ、委員

ス
(木暮武太夫君登壇)
○木暮武太夫君 私ハ只今議題ト相成リマ
シタ豫算各案ニ對シマシテ、翼賛議員同盟
ヲ代表シテ賛成ノ意ヲ表スルモノデアリマ
スルコトデアリマス、是ガ爲ニハ國家ハ總
立タシムベキ重大ナル責任ヲ政府ニ負ハシ
ムル重大ナル軍國豫算デアルト申上げテ差
支ヘナイノデアリマス(拍手)戰時ノ唯一ノ
要請ハ戰力ノ増強ニ依リマシテ、必勝ヲ期
スルコトデアリマス、是ガ爲ニハ國家ハ總
テノ國力ヲ擧ゲテ、必勝目的ニ傾注スル必
要ガアルノデアリマス、即チ産業ニ、經濟
ニ、國民生活ニ、文化ニ、一切ヲ指導シ
統制シ、計畫スルノ力ヲ國家ガ握ラザルヲ
得ナインデアリマス、斯ウ云フ狀態ニナリ
マシタ以上ハ、戰時ノ國家財政ト云フモノノ

ノ關係ニ於キマシテ、總理大臣ノ御答ハ
翼賛會ノ性格ニ付キマシテハ、只今
御話ノ如ク、第七十六帝國議會ニ於テ政府
ノ方ヨリ之ヲ制限スルノデハナイケレドモ、
翼賛會ノ地方支部等ニ在リテハ其ノ役員ト
ナツテ居ル人ガ、其ノ儘立候補スル時ハ、
翼賛運動ト選舉運動トノ間ニ紛淆ヲ生ズル
虞アリトノ意見ニ對シ、總理大臣ハ更ニ考慮
ヲ約サレテ、昨日ノ豫算總會ニ於テ、斯ノ

ノ關係ニ於キマシテ、總理大臣ノ御答ハ
翼賛會ノ性格ニ付キマシテハ、只今
御話ノ如ク、第七十六帝國議會ニ於テ政府
ノ方ヨリ之ヲ制限スルノデハナイケレドモ、
翼賛會ノ地方支部等ニ在リテハ其ノ役員ト
ナツテ居ル人ガ、其ノ儘立候補スル時ハ、
翼賛運動ト選舉運動トノ間ニ紛淆ヲ生ズル
虞アリトノ意見ニ對シ、總理大臣ハ更ニ考慮
ヲ約サレテ、昨日ノ豫算總會ニ於テ、斯ノ

燃エテ居ルノデアリマス(拍手)而シテ我ガ
ノ答辯デアリマシタ、尙ホ其ノ他重要ナル
種々ノ問題ニ付テ質疑ガアリマシタガ、是
ヲ記録ニ相讓リマス

昨二日再び豫算總會ヲ開キマシテ、各分
科主査ヨリ審査ノ結果ノ報告ガアリマシタ
後、各案ヲ一括シテ討論ニ入り、木原七郎
君、鈴木文治君、中村高一君及ビ水谷長三
郎君ヨリ各、所屬會派ヲ代表シテ、原案賛成
ノ意見ヲ述べラレ、採決ニ入りマシタ、原

案賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メタル所、起立總
員、即チ全員一致ヲ以テ可決致シマシタ
(拍手)此ノ段御報告申上げマス(拍手)
○議長(田子一民君) 是ヨリ討論ニ入り
マス——木暮武太夫君

超エテ候補者推舉ニ關係シタル場合ハドウ
カトノ質問ニ對シテハ、翼賛會トシテ選舉
運動ヲナスベキモノニアラズトノ答辯デゴ
ザイマス、尙ホ翼賛會關係者ノ立候補ノ問
題ニ付テハ、出來得ル限リ制限ヲ加ヘザル
ヲ可トスルトノ説明デアリマシタガ、委員

ス
(木暮武太夫君登壇)
○木暮武太夫君 私ハ只今議題ト相成リマ
シタ豫算各案ニ對シマシテ、翼賛議員同盟
ヲ代表シテ賛成ノ意ヲ表スルモノデアリマ
スルコトデアリマス、是ガ爲ニハ國家ハ總
立タシムベキ重大ナル責任ヲ政府ニ負ハシ
ムル重大ナル軍國豫算デアルト申上げテ差
支ヘナイノデアリマス(拍手)戰時ノ唯一ノ
要請ハ戰力ノ増強ニ依リマシテ、必勝ヲ期
スルコトデアリマス、是ガ爲ニハ國家ハ總
テノ國力ヲ擧ゲテ、必勝目的ニ傾注スル必
要ガアルノデアリマス、即チ産業ニ、經濟
ニ、國民生活ニ、文化ニ、一切ヲ指導シ
統制シ、計畫スルノ力ヲ國家ガ握ラザルヲ
得ナインデアリマス、斯ウ云フ状態ニナリ
マシタ以上ハ、戰時ノ國家財政ト云フモノノ

加ヘラレルコトハ、何人モ豫測シ得ベキコトデアルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ金融ノ側カラモ、物ノ側カラモ、必勝ニ必要ナル國防用物資ノ增强ガ、今回ノ大キナ豫算ノ裏付ヲ致シマスル限りニ於キマシテハ、米英ノ希望的豫測ノ如キ悪性「インフレ」ハ断ジテ我ガ帝國ニハ起ラナイト、吾々ハ確信致シテ居ルノデアリマス、簡單ニ申シマスルナラバ、世界第一ノ原料資源地域ヲ握ルベキ道理ヘ、断ジテナイト確信ヲ致シテ居ルノデアリマス（拍手）寧ロ問題ハ勞務ノ調整ニアリト考ヘラレマス、去ル一月六日「アメリカ」ノ議會ニ送ツタ「アメリカ」大統領ノ教書ノ中デ、大東亞戰爭緒戦ニ於ケル大敗北ヲ挽回スル爲ニ、一大軍備ノ計畫ヲ示シテ居ルノデアリマス、此ノ「アメリカ」ノ一大軍備計畫ニ對シマシテハ、吾々ハ之ヲケレバ、物ノ側ヨリノ惡性「インフレ」ノ起ルベキ道理ヘ、断ジテナイト確信ヲ致シテ居ルノデアリマス、簡單ニ申シマスルナラバ、物ノ側ヨリノ惡性「インフレ」ノ起ルベキ道理ヘ、断ジテナイト確信ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯ウ考ヘテ参リマスルト、中々多クノ勞務ノ需要ガ、サネバナラヌコトデアリマス、斯ウ考ヘテ参リマスルト、是ニ於テ或ハ兵器、重工業、化學工業ノヤウナ第一義的ナ國家ノ國防建設ノ爲ニ重要ナル産業ニ對スル勞務ハ國內人口ニ之ヲ一任スル、更ニ第二義的ナ産業ニ對スル勞務ハ東亞共榮圈諸地域ノ人口ニ任シテヤルト云フヤウナ雄大ナル計畫ノ下ニ、新シイ勞務配置ノ計畫ト云フモノガ、急速ニ出來ルコトヲ吾々ハ要望シテ徒ラニ嘲笑シ、徒ラニ恐れルモノデハアリマセヌ、唯敵ノ備ヘ以上ノ備ヘヲ充實シナケレバナラスト云フコトヲ考ヘルグケデアリマス、斯ウ考ヘテ参リマスルト、今後ニ於テ軍需兵器ノ生産ヲ中心トスル國防資材擴充ノ爲ニハ、茲ニ相當莫大ナ勞力ノ配置サルベキコトハ、當然ト言ハザルヲ得ナイ

ノデアリマス、一面ニ於テハ食糧ノ確保ト、帝國ニ於ケル堅實ナル國民申堅層ノ維持増強ノ爲ニ、或ル一定數ノ農村ノ人口ハ動力スト云フコトハ出來マセヌ、他面作戰ノ進捗ト共ニ、南方諸地域ノ住民ニ對シマシテ、衣料品、或ハ雜貨、其ノ他ノ日用生活品ヲ供給確保シテヤルト云フコトハ、東亞共榮圈ノ盟主トナツタ我ガ帝國ノ責任ニ於テナサネバナラヌコトデアリマス、斯ウ考ヘテ参リマスルト、中々多クノ勞務ノ需要ガ、サネバナラヌコトデアリマス、其ノ代リニ今マヌノデアリマス、是ニ於テ或ハ兵器、重工業、化學工業ノヤウナ第一義的ナ國家ノ國防建設ノ爲ニ重要ナル産業ニ對スル勞務ハ日本銀行ガ持ツテ居ツタ所ノ通貨ノ安全性ノ大キナ役目ハ、今後大藏省ガ全面的に負フニ至ツタノデアリマス、即チ日銀ハ今後ハ大藏省ノ或ル意味ニ於テハ一分局ト化シテ、政府ガ決定シタ所ノ方針ニ從ツテ實業ト並んで車ノ兩輪ノヤウナ形ヲ執ルベキナクナツタノデアリマス、其ノ代リニ今マヌノデアリマス、是ニ於テ或ハ兵器、重工業、化學工業ノヤウナ第一義的ナ國家ノ國防建設ノ爲ニ重要ナル産業ニ對スル勞務ハ國內人口ニ之ヲ一任スル、更ニ第二義的ナ産業ニ對スル勞務ハ東亞共榮圈諸地域ノ人口ニ任シテヤルト云フヤウナ雄大ナル計畫ノ下ニ、新シイ勞務配置ノ計畫ト云フモノガ、急速ニ出來ルコトヲ吾々ハ要望シテ徒ラニ嘲笑シ、徒ラニ恐れルモノデハアリマセヌ、唯敵ノ備ヘ以上ノ備ヘヲ充實シナケレバナラスト云フコトヲ考ヘルグケデアリマス、斯ウ考ヘテ参リマスルト、今後ニ於テ軍需兵器ノ生産ヲ中心トスル國防資材擴充ノ爲ニハ、茲ニ相當莫大ナ勞力ノ配置サルベキコトハ、當然ト言ハザルヲ得ナイ

ノデアリマス、一面ニ於テハ食糧ノ確保ト、帝國ニ於ケル堅實ナル國民申堅層ノ維持増強ノ爲ニ、或ル一定數ノ農村ノ人口ハ動力スト云フコトハ出來マセヌ、他面作戰ノ進捗ト共ニ、南方諸地域ノ住民ニ對シマシテ、衣料品、或ハ雜貨、其ノ他ノ日用生活品ヲ供給確保シテヤルト云フコトハ、東亞共榮圈ノ盟主トナツタ我ガ帝國ノ責任ニ於テナサネバナラヌコトデアリマス、斯ウ考ヘテ参リマスルト、中々多クノ勞務ノ需要ガ、サネバナラヌコトデアリマス、其ノ代リニ今マヌノデアリマス、是ニ於テ或ハ兵器、重工業、化學工業ノヤウナ第一義的ナ國家ノ國防建設ノ爲ニ重要ナル産業ニ對スル勞務ハ日本銀行ガ持ツテ居ツタ所ノ通貨ノ安全性ノ大キナ役目ハ、今後大藏省ガ全面的に負フニ至ツタノデアリマス、即チ日銀ハ今後ハ大藏省ノ或ル意味ニ於テハ一分局ト化シテ、政府ガ決定シタ所ノ方針ニ從ツテ實業ト並んで車ノ兩輪ノヤウナ形ヲ執ルベキナクナツタノデアリマス、其ノ代リニ今マヌノデアリマス、是ニ於テ或ハ兵器、重工業、化學工業ノヤウナ第一義的ナ國家ノ國防建設ノ爲ニ重要ナル産業ニ對スル勞務ハ國內人口ニ之ヲ一任スル、更ニ第二義的ナ産業ニ對スル勞務ハ東亞共榮圈諸地域ノ人口ニ任シテヤルト云フヤウナ雄大ナル計畫ノ下ニ、新シイ勞務配置ノ計畫ト云フモノガ、急速ニ出來ルコトヲ吾々ハ要望シテ徒ラニ嘲笑シ、徒ラニ恐れルモノデハアリマセヌ、唯敵ノ備ヘ以上ノ備ヘヲ充實シナケレバナラスト云フコトヲ考ヘルグケデアリマス、斯ウ考ヘテ参リマスルト、今後ニ於テ軍需兵器ノ生産ヲ中心トスル國防資材擴充ノ爲ニハ、茲ニ相當莫大ナ勞力ノ配置サルベキコトハ、當然ト言ハザルヲ得ナイ

ノデアリマス、一面ニ於テハ食糧ノ確保ト、帝國ニ於ケル堅實ナル國民申堅層ノ維持増強ノ爲ニ、或ル一定數ノ農村ノ人口ハ動力スト云フコトハ出來マセヌ、他面作戰ノ進捗ト共ニ、南方諸地域ノ住民ニ對シマシテ、衣料品、或ハ雜貨、其ノ他ノ日用生活品ヲ供給確保シテヤルト云フコトハ、東亞共榮圈ノ盟主トナツタ我ガ帝國ノ責任ニ於テナサネバナラヌコトデアリマス、斯ウ考ヘテ参リマスルト、中々多クノ勞務ノ需要ガ、サネバナラヌコトデアリマス、其ノ代リニ今マヌノデアリマス、是ニ於テ或ハ兵器、重工業、化學工業ノヤウナ第一義的ナ國家ノ國防建設ノ爲ニ重要ナル産業ニ對スル勞務ハ日本銀行ガ持ツテ居ツタ所ノ通貨ノ安全性ノ大キナ役目ハ、今後大藏省ガ全面的に負フニ至ツタノデアリマス、即チ日銀ハ今後ハ大藏省ノ或ル意味ニ於テハ一分局ト化シテ、政府ガ決定シタ所ノ方針ニ從ツテ實業ト並んで車ノ兩輪ノヤウナ形ヲ執ルベキナクナツタノデアリマス、其ノ代リニ今マヌノデアリマス、是ニ於テ或ハ兵器、重工業、化學工業ノヤウナ第一義的ナ國家ノ國防建設ノ爲ニ重要ナル産業ニ對スル勞務ハ國內人口ニ之ヲ一任スル、更ニ第二義的ナ産業ニ對スル勞務ハ東亞共榮圈諸地域ノ人口ニ任シテヤルト云フヤウナ雄大ナル計畫ノ下ニ、新シイ勞務配置ノ計畫ト云フモノガ、急速ニ出來ルコトヲ吾々ハ要望シテ徒ラニ嘲笑シ、徒ラニ恐れルモノデハアリマセヌ、唯敵ノ備ヘ以上ノ備ヘヲ充實シナケレバナラスト云フコトヲ考ヘルグケデアリマス、斯ウ考ヘテ参リマスルト、今後ニ於テ軍需兵器ノ生産ヲ中心トスル國防資材擴充ノ爲ニハ、茲ニ相當莫大ナ勞力ノ配置サルベキコトハ、當然ト言ハザルヲ得ナイ

ノデアリマス、一面ニ於テハ食糧ノ確保ト、帝國ニ於ケル堅實ナル國民申堅層ノ維持増強ノ爲ニ、或ル一定數ノ農村ノ人口ハ動力スト云フコトハ出來マセヌ、他面作戰ノ進捗ト共ニ、南方諸地域ノ住民ニ對シマシテ、衣料品、或ハ雜貨、其ノ他ノ日用生活品ヲ供給確保シテヤルト云フコトハ、東亞共榮圈ノ盟主トナツタ我ガ帝國ノ責任ニ於テナサネバナラヌコトデアリマス、斯ウ考ヘテ参リマスルト、中々多クノ勞務ノ需要ガ、サネバナラヌコトデアリマス、其ノ代リニ今マヌノデアリマス、是ニ於テ或ハ兵器、重工業、化學工業ノヤウナ第一義的ナ國家ノ國防建設ノ爲ニ重要ナル産業ニ對スル勞務ハ日本銀行ガ持ツテ居ツタ所ノ通貨ノ安全性ノ大キナ役目ハ、今後大藏省ガ全面的に負フニ至ツタノデアリマス、即チ日銀ハ今後ハ大藏省ノ或ル意味ニ於テハ一分局ト化シテ、政府ガ決定シタ所ノ方針ニ從ツテ實業ト並んで車ノ兩輪ノヤウナ形ヲ執ルベキナクナツタノデアリマス、其ノ代リニ今マヌノデアリマス、是ニ於テ或ハ兵器、重工業、化學工業ノヤウナ第一義的ナ國家ノ國防建設ノ爲ニ重要ナル産業ニ對スル勞務ハ國內人口ニ之ヲ一任スル、更ニ第二義的ナ産業ニ對スル勞務ハ東亞共榮圈諸地域ノ人口ニ任シテヤルト云フヤウナ雄大ナル計畫ノ下ニ、新シイ勞務配置ノ計畫ト云フモノガ、急速ニ出來ルコトヲ吾々ハ要望シテ徒ラニ嘲笑シ、徒ラニ恐れルモノデハアリマセヌ、唯敵ノ備ヘ以上ノ備ヘヲ充實シナケレバナラスト云フコトヲ考ヘルグケデアリマス、斯ウ考ヘテ参リマスルト、今後ニ於テ軍需兵器ノ生産ヲ中心トスル國防資材擴充ノ爲ニハ、茲ニ相當莫大ナ勞力ノ配置サルベキコトハ、當然ト言ハザルヲ得ナイ

ニ改編スルノ勇斷ニ出デナケレバナラスト
思フノデアリマス(拍手)例ヘバ軍需生産ニ
對スル統制指導ノ一元化ノ問題ノ如キハ、
即チ是レデアリス、今假ニ例ヲ特殊鋼一ツ
ダケニ取ツテ見マシテモ、特殊鋼ニ對スル
民需ハ殆ドアリマセヌ、其ノ九分九厘マデ
ハ陸海軍ノ軍需デアリマス、即チ特殊鋼ニ
對スル最大ノ發註者ハ、陸海軍デアリマス、
然ルニ特殊鋼工業ノ指導統制ハ、最大ノ需
要者デアリ、最大ノ發註者デアル陸海軍力
ラ離レマシテ、サウシテ商工省デ之ヲ行ツ

セウカ(拍手)第一次大戰以來、戰ノ時ニハ
軍需生産增强ノ爲ニ、一元的指導ヲ試ミナ
イ國ハ恐ラクナカツタラウト思フノデアリ
マス、役人ノ方々ガ議會デ答辯セラレル常
套語デアル關係各省ト緊密ナル連絡ヲ取り
マシテ、萬遺憾ナキヲ期シマスルト云フコ
トダケデハ、到底解決ノ出來ナイ問題デア
ルト吾々ハ考ヘルノデアリマス、ドウゾ政
府ハ是等ノ點ニ付テハ、國家ノ爲ニ御勇斷
ヲナサレンコトヲ切望シテ已ミマセヌ(拍
手)

官紀ノ振肅ハ統制經濟ノ效果ヲ擧ゲル先
決的要件デアリマス(拍手)國民ガ官ヲ信
アリ、非能率的デアルコトガ容易ニ御分リ
下サルコトト思ヒマス、戰爭ノ時ニハ斯ウ
云フモノガ調べテ見レバ相當澤山アルノデ
ハイカト思ヒマス、更ニ陸海軍ノ發註ノ
ミニ依ル軍需工場ニ就テ之ヲ見マスノニ、
管理、指導ハ勿論陸海軍ガオヤリニナツテ
居ル、建物ノ關係ハ内務省、商工省ノ關係
デアル、或ハ勞務關係ハ厚生省オヤリニ
ナリ、使フ原材料ノ關係ハ商工省デアル、
斯ウ云フ複雜多岐ナル統制ト云フモノガ、
此ノ一日一刻モ速カニ戰力増強ヲシナケレ
バナラヌ此ノ非常ノ時ニ、軍需品ノ増強ニ
妨ダナシト何人ガ之ヲ斷ズルコトガ出來マ
マス(拍手)東條總理ハ豫算總會ノ御答辯ノ

中デモ率直ニ、政治ハ人デアルト言ハレテ
居ルノデアリマス、全ク私モサウ思ヒマス、
バ・國政ノ實ガ舉ガルト云フコトハ保證出
來ナイノデアリマス、率先垂範ノ人東條大
將ヲ首班トスル現内閣ノ下ニ於テコソ、此
ノ大ナル官紀振肅ノ絶好ノ機會ガ到來シ
タト、國民ハ皆期待ヲ致シテ居ルコトヲ申
上ゲテ置クノデアリマス(拍手)
戦ヒニ勝ツコトハ絶對デアリマス、今日
ハ總テノモノヲ擧ゲテ、勝ツ目的ノ爲ニ奉
仕サセナケレバナリマセヌ、舊來ノ狹イ財
政ノ見地カラ、戦ヒニ勝チヲ得ル爲ニ戰力
增强ノ施策ヲ、假ニモ拘束制約スルガ如キ
コトガアリマシタナラバ、國家ノ前途ヲ誤
ル是レヨリ甚ダシキモノハナイト私ハ信ジ
ス、官ニ信用ガアツテ初メテ官民和諧、協
力一致ノ實ガ擧ガルノデアリマス、官紀ノ
頽廢ホド此ノ大切ナル官ノ信用ヲ傷クルモ
ノハナイノデアリマス(拍手)若シ假ニ官ニ
シテ信ナクンバ、國民ハ奮起致シマセヌ、
國民ノ士氣ハ萎靡退變致シマス、國民ハ唯
ト思フノデアリマス、洵ニ是ハ千古ヲ貫ク
眞理デアリマス、大東亞戰爭ハ米英ノ屈服
マデ勝チ抜クノデアリマス、我ガ皇軍ノ精
神力訓練ト云フモノハ到底敵方ノ企テ及バ
ヌモノデアルコトハ勿論デアリマス、ト同
時ニ日本ノ金ニ直シテ約一千三百餘億圓ヲ
投ジテ、一大軍備ノ充實ヲシヨウトシテ居
ル敵ヲ目ノ前ニ見テ、之ヲ打倒スル爲ニハ、
シテ居ルノデアリマス、帝國興隆ノ道程ニ於
我方國民ハ將來ニ更ニ大ナル負擔ヲ覺悟致
居ルノデアリマス、全ク私モサウ思ヒマス、
バ・國政ノ實ガ舉ガルト云フコトハ保證出
來ナイノデアリマス、率先垂範ノ人東條大
將ヲ首班トスル現内閣ノ下ニ於テコソ、此
ノ大ナル官紀振肅ノ絶好ノ機會ガ到來シ
タト、國民ハ皆期待ヲ致シテ居ルコトヲ申
上ゲテ置クノデアリマス(拍手)
戦ヒニ勝ツコトハ絶對デアリマス、今日
ハ總テノモノヲ擧ゲテ、勝ツ目的ノ爲ニ奉
仕サセナケレバナリマセヌ、舊來ノ狹イ財
政ノ見地カラ、戦ヒニ勝チヲ得ル爲ニ戰力
增强ノ施策ヲ、假ニモ拘束制約スルガ如キ
コトガアリマシタナラバ、國家ノ前途ヲ誤
ル是レヨリ甚ダシキモノハナイト私ハ信ジ
ス(拍手)

以上ノ意見ヲ以テ本豫算各案ニ對シマシ
テ、贊成ノ意ヲ表スルモノデアリマス(拍
手)○議長(田子一民君) 安藤正純君
(安藤正純君登壇)
○安藤正純君 私ハ只今議題トナツテ居リ
マス昭和十七年度豫算各案ニ對シマシテ、
同交會ヲ代表シテ贊成ノ意ヲ表スルモノデ
アリマス
曩ニ本院ニ於テ協賛致シマシタ大東亞戰
完遂ヲ目的トシテ編成サレマシタ百八十億
圓ノ臨時軍事費豫算ト、只今ノ八十八億圓
ノ本豫算トハ、表裏一體ノ關係ニアリマシ
テ、共ニ必戰必勝ニ歸一スベキモノデアリ
マス、此ノ必戰必勝ノ重點主義ノ上ニ編成
サレタ本豫算ハ、其ノ質ニ於テモ、其ノ量
ニ於テモ、洵ニ空前ノ大豫算デアリマス、
而シテ此ノ豫算ノ財源ハ、國民直接ノ負擔

タル租稅其ノ他ノ收入ニ求メマシテ、其ノ不足ヲ公債ニ俟ツト云フ方針ハ、從前ノ如ク敢テ變リハナイノデアリマスガ、本豫算ヲ通ジテ我が國民ノ彈力性アル負擔力ヲ示シタコトハ、本豫算ノ特徵デアリマシテ、中外ニ對シテ我が國民ノ擔稅能力ヲ示スモノデアルト存ズル次第ゴザイマス(拍手)即チ本年度豫算ノ純計二百四十三億圓ニ對シマシテ、租稅其ノ他ノ收入七十二億圓ト云フモノハ、約三割弱ニ當ルノデアリマシテ、實ニ此ノ老大ナル豫算ニ對シテ、約三割ヲ國民ノ租稅ニ依ツテ賄ヒ得ルト云フコト抑々大東亞戰ノ性格竝ニ其ノ目的ハ、東亞ノ諸國ヲシテ米英勢力ノ横暴不倫ナル制壓スルト共ニ、新鮮明朗ナル世界新秩序ノ建設ヲ期スルモノデアリマスガ、又一面ニハ遠大ナル資源獲得戦タルコトヲ閑却シテハナライノデアリマス(拍手)即チ石油、ゴム、錫等ノ戰時物資ハ勿論ノコト、米穀アレ、砂糖デアレ、國民ノ平和必需品的物資ハ、總テ戰爭遂行ト共ニ、之ヲ一方ニ獲得シナガラ、必勝ノ目的達成ニ邁進スルコトガ出來ルノデアリマシテ、是レ實ニ我ガ

國ノ經濟力ヲ涵養シナガラ、長期恆久ノ戰爭ヲ容易ナラシムモノデゴザイマス(拍手)而シテ其ノ影響ハ國民財蓄ノ上ニ、生產力擴充ノ上ニ、又公債消化ノ上ニ甚大ナル果實トナツテ現ハレ、本豫算遂行ノ確實性ヲ認メラル所以ト信ジマシテ、國民が齊シク翹望シ、滿腔ノ信賴ト期待トヲ懸ケル所以デアリマス(拍手)隨テ政府ハ本豫算遂行ノ上ニハ、緊張ノ精神ト慎重ノ態度トヲ持シテ、國民ノ信賴ニ背カザランコトヲ期サナケレバナラヌト存ジマス(拍手)若シ詳カニ本豫算ノ内容ヲ檢討致シマスハ、如何ニ日本國民ニ偉大ナル底力ガアルカト云フコトヲ示スモノト存ジマス(拍手)抑々大東亞戰ノ性格竝ニ其ノ目的ハ、東亞ノ諸國ヲシテ米英勢力ノ横暴不倫ナル制壓スルガ、戰爭完遂目的ノ上ニ編成セラレタル戰時豫算トシテ、私ハ潔ク贊成スル者デゴザイマス(拍手)唯著シク不足ヲ感ズルコトハ本豫算ノ中ニハ生産擴充、石炭増產、米穀生産、防空設備、銑鐵買收補償ト云フヤウナ戰爭遂行ニ伴フ所ノ巨額ノ經費ガ計ニ至セラレテ居リマスルガ、獨リ戰爭完遂ノ爲シテ、尤モ大藏大臣ハ石油增產ノ爲ニハ、必要ナル經費ノ支出ハ惜マナイト云フコトヲ、豫算分科會デ言明サレテ居ルノデアリマス、果シテ然ラバ政府ハ百尺竿頭一步ヲ進メテ燃料省ノヤウナモノヲ獨立セシメテウナ戰爭遂行ニ伴フ所ノ巨額ノ經費ガ計ニ至シマシテ、陸海民一致ノ歩調ヲ取ツテ、數十億ヲ惜マザル一大組織的計畫ヲ樹立シ、以レタ技術院ノ機能等ヲモ、ソコニ動員ヲ致シタコトハ、陸海民一致ノ歩調ヲ取ツテ、數十億ヲ惜マザル一大組織的計畫ヲ樹立シ、以

リマス、一言ニシテ言ヘバ、石油對策ノ用意ト計畫ハ他ノ計畫ニ比シテ著シク缺クル所ガアルト思ヒマス、此ノ點ハ豫算委員會ニ於テ同僚川崎君カラモ指摘セラレタ所デアリマス、尤モ我國ニハ豊富ナル貯油ガアリマスガ、油ノ一滴ハ血ノ一滴ヨリモ貴シトスルノデアル、此ノ際石油採油ノ上ニハ、萬全ノ方策ヲ講ジナケレバナラヌト信ジマス、私ハ此ノ機會ニ於テ政府ニ進言シタイ、即チ政府ハ其ノ所期スル石油ノ大量増產ヲ確保セントスルナラバ、現在ノヤウナ貧弱ナル機構組織ノ下ニ於テ、之ヲ效果レバ、多々言フベキモノハアルノデアリマス、尤モ大藏大臣ハ石油增產ノ爲ニハ、必スルガ、戰爭完遂目的ノ上ニ編成セラレタル戰時豫算トシテ、私ハ潔ク贊成スル者デゴザイマス(拍手)唯著シク不足ヲ感ズルコトハ本豫算ノ中ニハ生産擴充、石炭増產、米穀生産、防空設備、銑鐵買收補償ト云フヤウナ戰爭遂行ニ伴フ所ノ巨額ノ經費ガ計ニ至セラレテ居リマスルガ、獨リ戰爭完遂ノ爲シテ、尤モ大藏大臣ハ石油增產ノ爲ニハ、必要ナル經費ノ支出ハ惜マナイト云フコトヲ、豫算分科會デ言明サレテ居ルノデアリマス、果シテ然ラバ政府ハ百尺竿頭一步ヲ進メテ燃料省ノヤウナモノヲ獨立セシメテウナ戰爭遂行ニ伴フ所ノ巨額ノ經費ガ計ニ至シマシテ、陸海民一致ノ歩調ヲ取ツテ、數十億ヲ惜マザル一大組織的計畫ヲ樹立シ、以

リマス、一言ニシテ言ヘバ、石油對策ノ用意ト計畫ハ他ノ計畫ニ比シテ著シク缺クル所ガアルト思ヒマス、此ノ點ハ豫算委員會ニ於テ各委員カラ指摘セラレタ通りマスガ、今後戰略ニ伴フ建設期ニ入りリマシテ、現在ノ造船程度ヲ以テシテハ、最早雄大ナル建設計畫ニ應ズルコトハ到底不可能ニ於テ同僚川崎君カラモ指摘セラレタ所デアリマス、尤モ我國ニハ豊富ナル貯油ガアリマス、尤モ我國ニハ豊富ナル貯油ガアリマスガ、油ノ一滴ハ血ノ一滴ヨリモ貴シトスルノデアル、此ノ際石油採油ノ上ニハ、萬全ノ方策ヲ講ジナケレバナラヌト信ジマス、私ハ此ノ機會ニ於テ政府ニ進言シタイ、即チ政府ハ其ノ所期スル石油ノ大量増產ヲ確保セントスルナラバ、現在ノヤウナ貧弱ナル機構組織ノ下ニ於テ、之ヲ效果レバ、多々言フベキモノハアルノデアリマス、尤モ大藏大臣ハ石油增產ノ爲ニハ、必スルガ、戰爭完遂目的ノ上ニ編成セラレタル戰時豫算トシテ、私ハ潔ク贊成スル者デゴザイマス(拍手)唯著シク不足ヲ感ズルコトハ本豫算ノ中ニハ生産擴充、石炭増產、米穀生産、防空設備、銑鐵買收補償ト云フヤウナ戰爭遂行ニ伴フ所ノ巨額ノ經費ガ計ニ至セラレテ居リマスルガ、獨リ戰爭完遂ノ爲シテ、尤モ大藏大臣ハ石油增產ノ爲ニハ、必要ナル經費ノ支出ハ惜マナイト云フコトヲ、豫算分科會デ言明サレテ居ルノデアリマス、果シテ然ラバ政府ハ百尺竿頭一步ヲ進メテ燃料省ノヤウナモノヲ獨立セシメテウナ戰爭遂行ニ伴フ所ノ巨額ノ經費ガ計ニ至シマシテ、陸海民一致ノ歩調ヲ取ツテ、數十億ヲ惜マザル一大組織的計畫ヲ樹立シ、以

リマス、一言ニシテ言ヘバ、石油對策ノ用意ト計畫ハ他ノ計畫ニ比シテ著シク缺クル所ガアルト思ヒマス、此ノ點ハ豫算委員會ニ於テ各委員カラ指摘セラレタ通りマスガ、其ノ後ニ於テモ尙且ツ往々政事結社ニ糾ルル行動ガアルコトハ争ヘナイ事實ニアリマシテ、(拍手)其ノ實例ハ、此ノ間豫算委員會ニ於テ各委員カラ指摘セラレタ通りマス、恰モ本年ノ衆議院議員總選舉、並ニ地方議員ノ改選ニ際シマシテ、翼賛會竝ニ船舶運輸ノ問題モ同様デアリマス、勿論戰爭遂行ノ上ニ於キマシテ、船舶運輸計畫ヲ縮小セルガ如キ傾向ガ見ユルノデアリマス、一言ニシテ言ヘバ、石油對策ノ用意ト計畫ハ他ノ計畫ニ比シテ著シク缺クル所ガアルト思ヒマス、此ノ點ハ豫算委員會ニ於テ同僚川崎君カラモ指摘セラレタ所デアリマス、尤モ我國ニハ豊富ナル貯油ガアリマス、尤モ我國ニハ豊富ナル貯油ガアリマスガ、油ノ一滴ハ血ノ一滴ヨリモ貴シトスルノデアル、此ノ際石油採油ノ上ニハ、萬全ノ方策ヲ講ジナケレバナラヌト信ジマス、私ハ此ノ機會ニ於テ政府ニ進言シタイ、即チ政府ハ其ノ所期スル石油ノ大量増產ヲ確保セントスルナラバ、現在ノヤウナ貧弱ナル機構組織ノ下ニ於テ、之ヲ效果レバ、多々言フベキモノハアルノデアリマス、尤モ大藏大臣ハ石油增產ノ爲ニハ、必スルガ、戰爭完遂目的ノ上ニ編成セラレタル戰時豫算トシテ、私ハ潔ク贊成スル者デゴザイマス(拍手)唯著シク不足ヲ感ズルコトハ本豫算ノ中ニハ生産擴充、石炭増產、米穀生産、防空設備、銑鐵買收補償ト云フヤウナ戰爭遂行ニ伴フ所ノ巨額ノ經費ガ計ニ至シマシテ、陸海民一致ノ歩調ヲ取ツテ、數十億ヲ惜マザル一大組織的計畫ヲ樹立シ、以

ニ其ノ一翼タル翼賛壯年團ガ、一方的ノ態度ニ於テ選舉ニ關與スルガ如キコトガアルス（拍手）大東亞戰勃發以來、一億國民ハ君國ノ爲ニ喜ビ勇ンデ生命ト財產トヲ犠牲ニ供シ、鐵ノ如ク固ク、火ノ如ク熱ク、ヒタ向キニ必勝ノ信念ヲ以テ一致團結シテ居ルノデアル（拍手）上ハ廟堂ノ大臣宰相ヨリ、下ハ津々浦々ノ庶民ニ至ルマデ悉ク大政ニ翼賛シテ居ルノデアリマス（拍手）私ハ此ノ日本ノ偽ラザル其ノ儘ノ姿コソ、實ニ國體ノ精華デアルト思ヒマス（拍手）此ノ時ニ當リマシテ、翼賛會ダケガ獨リ大政翼賛ノ名ヲ恣（拍手）、今更言フマデモゴザイマセヌガ、我が日本ガ凡ユル世界ニ持出シテ強イノハ一如ノ精神ノ徹底シテ居ル故デアリマス（拍手）一君萬民、君民一如、是ガ強イノダ、歐米ノ如ク相對對立ガ原理デハナク、我ガ日本ニ於キマシテハ絕對一如ガ指導原理デモ、名譽モ皆集マツテ歸一シテ居リマス、

スルコトハ、寧ロ僭越至極ノ沙汰ト存ジマス（拍手）此ノ時ニ當リマス（拍手）私ハ此ノ日本ノ偽ラザル其ノ儘ノ姿コソ、實ニ國體ノ精華デアルト思ヒマス（拍手）此ノ時ニ當リマシテ、翼賛會ダケガ獨リ大政翼賛ノ名ヲ恣（拍手）、今更言フマデモゴザイマセヌガ、我が日本ガ凡ユル世界ニ持出シテ強イノハ一如ノ精神ノ徹底シテ居ル故デアリマス（拍手）一君萬民、君民一如、是ガ強イノダ、歐米ノ如ク相對對立ガ原理デハナク、我ガ日本ニ於キマシテハ絕對一如ガ指導原理デモ、名譽モ皆集マツテ歸一シテ居リマス、

スルコトハ、寧ロ僭越至極ノ沙汰ト存ジマス（拍手）此ノ時ニ當リマス（拍手）私ハ此ノ日本ノ偽ラザル其ノ儘ノ姿コソ、實ニ國體ノ精華デアルト思ヒマス（拍手）此ノ時ニ當リマシテ、翼賛會ダケガ獨リ大政翼賛ノ名ヲ恣（拍手）、今更言フマデモゴザイマセヌガ、我が日本ガ凡ユル世界ニ持出シテ強イノハ一如ノ精神ノ徹底シテ居ル故デアリマス（拍手）一君萬民、君民一如、是ガ強イノダ、歐米ノ如ク相對對立ガ原理デハナク、我ガ日本ニ於キマシテハ絕對一如ガ指導原理デモ、名譽モ皆集マツテ歸一シテ居リマス、

スルコトハ、寧ロ僭越至極ノ沙汰ト存ジマス（拍手）此ノ時ニ當リマス（拍手）私ハ此ノ日本ノ偽ラザル其ノ儘ノ姿コソ、實ニ國體ノ精華デアルト思ヒマス（拍手）此ノ時ニ當リマシテ、翼賛會ダケガ獨リ大政翼賛ノ名ヲ恣（拍手）、今更言フマデモゴザイマセヌガ、我が日本ガ凡ユル世界ニ持出シテ強イノハ一如ノ精神ノ徹底シテ居ル故デアリマス（拍手）一君萬民、君民一如、是ガ強イノダ、歐米ノ如ク相對對立ガ原理デハナク、我ガ日本ニ於キマシテハ絕對一如ガ指導原理デモ、名譽モ皆集マツテ歸一シテ居リマス、

スルコトハ、寧ロ僭越至極ノ沙汰ト存ジマス（拍手）此ノ時ニ當リマス（拍手）私ハ此ノ日本ノ偽ラザル其ノ儘ノ姿コソ、實ニ國體ノ精華デアルト思ヒマス（拍手）此ノ時ニ當リマシテ、翼賛會ダケガ獨リ大政翼賛ノ名ヲ恣（拍手）、今更言フマデモゴザイマセヌガ、我が日本ガ凡ユル世界ニ持出シテ強イノハ一如ノ精神ノ徹底シテ居ル故デアリマス（拍手）一君萬民、君民一如、是ガ強イノダ、歐米ノ如ク相對對立ガ原理デハナク、我ガ日本ニ於キマシテハ絕對一如ガ指導原理デモ、名譽モ皆集マツテ歸一シテ居リマス、

スルコトハ、寧ロ僭越至極ノ沙汰ト存ジマス（拍手）此ノ時ニ當リマス（拍手）私ハ此ノ日本ノ偽ラザル其ノ儘ノ姿コソ、實ニ國體ノ精華デアルト思ヒマス（拍手）此ノ時ニ當リマシテ、翼賛會ダケガ獨リ大政翼賛ノ名ヲ恣（拍手）、今更言フマデモゴザイマス（拍手）

スルコトハ、寧ロ僭越至極ノ沙汰ト存ジマス（拍手）此ノ時ニ當リマス（拍手）私ハ此ノ日本ノ偽ラザル其ノ儘ノ姿コソ、實ニ國體ノ精華デアルト思ヒマス（拍手）此ノ時ニ當リマシテ、翼賛會ダケガ獨リ大政翼賛ノ名ヲ恣（拍手）、今更言フマデモゴザイマス（拍手）

スルコトハ、寧ロ僭越至極ノ沙汰ト存ジマス（拍手）此ノ時ニ當リマス（拍手）私ハ此ノ日本ノ偽ラザル其ノ儘ノ姿コソ、實ニ國體ノ精華デアルト思ヒマス（拍手）此ノ時ニ當リマシテ、翼賛會ダケガ獨リ大政翼賛ノ名ヲ恣（拍手）、今更言フマデモゴザイマス（拍手）

スルコトハ、寧ロ僭越至極ノ沙汰ト存ジマス（拍手）此ノ時ニ當リマス（拍手）私ハ此ノ日本ノ偽ラザル其ノ儘ノ姿コソ、實ニ國體ノ精華デアルト思ヒマス（拍手）此ノ時ニ當リマシテ、翼賛會ダケガ獨リ大政翼賛ノ名ヲ恣（拍手）、今更言フマデモゴザイマス（拍手）

當ツテ、中間ニ於テ免レテ恥ナキ陋劣ナル所行ヲ敢テスルニ至リテハ、官紀ノ弛緩是ヨリ甚ダシキモノハナイト存ジマス（拍手）是レ皆官公吏ノ忠誠ノ念慮ニ缺ケタル獨善的態度ノ致ス所デゴザイマス

大東亞戰爭ニ於キマシテ日本國民ノ構想ガ雄大ニナツタコトハ大イニ喜ブベキコトデアリマスガ、之ヲ裏付ケル周到ナル準備ト、終始一貫スル堅忍持久ノ精神ヲ伴ハザル場合ニ於テハ、前途思ハザル危険ニ遭遇シテ、斯コトヲ惧レルノデアリマス、英米ガ大東亞戰ノ緒戦ニ慘敗致シマシタノハ、日本ノ力ノ過小評價ガ原因デアルコトニ考ヘ及ベバ、此ノ際國民ノ間ニ一面雄渾博大ノ氣宇ヲ涵養シ、一面謙虛内省ノ風格ヲ作ルコトガ切實ニ痛感セラレル次第デアリマス（拍手）豫算ノ實行ニ當ツテ特ニ政府ニ留意ヲ促ス次第デゴザイマス、私ハ簡單ニ是ダケノコトヲ申上ゲテ、本豫算ニ賛成ノ意ヲ表スル次第デアリマス（拍手）

○議長（田子一民君）　窪井義道君
〔窪井義道君登壇〕

○窪井義道君　私ハ第一控室所屬議員ヲ代表致シマシテ、只今議題トナツテ居リマスル豫算各案ニ對シ、委員長ノ報告ニ賛成ノ意ヲ表スル者デゴザイマス

大東亞戰爭ハ、本議會號頭ニ於テ東條總理大臣ガ述ベラレマシタル如ク、我ガ建國ニ崇高ナル大理想ヲ、將ニ昭和ノ此ノ御代ニ於テ顯現セントスル尊イ御戰デゴザイマス、世界ノ人類ニ皇道ヲ光被セントスル、即チ道義的 세계ノ建設ノ戰デゴザイマス、吾々日本國民ハ此ノ天地ノ榮ユル聖代ニ生ヲ享ケマシテ、天業ヲ翼賛シ奉ルコトヲ光榮ニ存ジマスルト共ニ、吾々議員ト致シマコトヲ無上ノ光榮ト存ズル者デゴザイマス（拍手）先般本議場ニ可決致シマシタル臨時軍事費及び本豫算ヲ合シマスルト、正ニ二百數十億圓ニ上ル巨額デゴザイマスルガ、コトヲ無上ノ光榮ト存ズル者デゴザイマス（拍手）或ハ先程同僚議員ガ申サレタヤウニ、占領地ノ住民ノ協力ヲ求メル場合モアリマセウ、或ハ生命圈ト云フモノノ體制ヲ整ヘルコトハ申スマデモアリマセヌ、併シナガラ近來動モスレバ、大東亞共榮圈ノミガ持ツテ居リマス所ノ特殊ナル物資、此ノ物資ガ過剩スルカラト云フコトニ依ツテ、俄力ニ是等ノ現在ノ生産ノ變更ヲ來サントスル如キ議論ガ見エルノデアリマス、或ハ場合ニ付テ、急激ニ變化ヲ與ヘルト云フ如キコトガラ現在大東亞ノミガ有スル此ノ過剩物資ニ付テ、急激ニ變化ヲ與ヘルト云フ如キコトデアツテ、ソレガ本當ニ正シイ見方デアルナラ宜シイノデアリマスガ、萬一近視眼的ニ、一時的ナ現象ニ眩惑サレテ是等ノ對策ヲ誤ツタナラバ、所謂悔ヲ後年ニ貽スガ如キコトガアツテハ、此ノ赫々タル戰果ニ

方ヲ要望致シタイト存ズルノデゴザイマス其ノ第一點ハ、大東亞建設ニ關シ中央機關ノ設置ノ問題デゴザイマス、戰爭ト建設トガ不可分ノ問題デアルノガ、大東亞戰爭ノ一大特質デゴザイマス、勿論現下ニ於キマシテハ、總理大臣ノ申サレル如クニ、一ニモニニモ三ニモ戰ヒ勝ツコトニ關シマシテ、國家總力ヲ集中スベキコトハ申スマデモアリマセヌ、併シナガラ戰爭ノ遂行ト共ニ、一方建設ヲ伴ヒマスル此ノ大戰ノ性質ニ鑑ミマセヌ時ニ當ツテ、或ハ戰爭遂行中ニ占領地マス時ニ當ツテ、或ハ戰爭遂行中ニ占領地域ノ住民ノ協力ヲ求メル場合モアリマセウ、或ハ生命圈ト云フモノノ體制ヲ整ヘルコトハ申スマデモアリマセヌ、併シナガラ近來動モスレバ、大東亞共榮圈ノミガ持ツテ居リマス所ノ特殊ナル物資、此ノ物資ガ過剩スルカラト云フコトニ依ツテ、俄力ニ是等ノ現在ノ生産ノ變更ヲ來サントスル如キ議論ガ見エルノデアリマス、或ハ場合ニ付テ、急激ニ變化ヲ與ヘルト云フ如キコトガラ現在大東亞ノミガ有スル此ノ過剩物資ニ付テ、急激ニ變化ヲ與ヘルト云フ如キコトデアツテ、ソレガ本當ニ正シイ見方デアルナラ宜シイノデアリマスガ、萬一近視眼的ニ、一時的ナ現象ニ眩惑サレテ是等ノ對策ヲ誤ツタナラバ、所謂悔ヲ後年ニ貽スガ如キコトガアツテハ、此ノ赫々タル戰果ニ

對シテ申譯ナイト存ズルノデアリマス、特ニ私ハ大東亞建設ニ當リマシテ、大東亞共榮圈並ニ共榮圈外ノ他ノ共榮圈、例ヘテ申シマスレバ獨伊ノ共榮圈ト云フ如キモノトノ間ニ於テモ、物資ノ交流ヲ圖リ、技術ノ交換ヲ行フヤウナ、大キナル見地ニ鑑ミテ是等ヲ考察シテ、其ノ對策ヲ立テラレソトヲ希望スル者デアリマス

第一ノ點ハ、國土計畫ト人口問題デアリマス、今次ノ世界戰爭ガ吾々ニ與ヘマシタル貴キ教訓ハ何デアルカ、ソレハ一定ノ國土ニ多數ノ純血ノ民族ガ住ンデ居リマス其ノ國ノ力ト云フモノハ、强大ナル戰爭ノ威力ヲ發揮シテ居リマスル點デゴザイマス、私ハ我ガ日本帝國ガ八千万、一億ノ大和民族ヲ持チ、此ノ國土、此ノ民族ノ力ト云フモノガ、今日八絃一字ヲ世界ニ顯現スル所ノ威力ヲ示シテ居ルノダト固ク信ズル者デアリマス、今日此ノ國土ガ土ト血——此ノ土ト血ノ一體化ト云フコトガ、今日ノ世界ノ指導國トナルベキ第一要素デアリマス、例ヘバ我ガ日本帝國ノ如キ、或ハ「ドイツ」民族ノ如キ然リデアリマス、吾々ハ英國ノ瓦解ハ、英國ガ其ノ本土ニ僅カ四千万ノ人口ヲ持ツテ居リマシテ、而モ廣汎ナル領土ガ世界ニ分散サレテ居ル所ニ原因ガ存スル

ト思フノデアリマス、又合衆國ハアノ廣ナル地域ニ一億數十万ノ人口ヲ持ツテ居リマスルガ、其ノ民族ガ多種多様デアリ、複合的國家ヲ組織シテ居ル所ニ、「アメリカ」ノ大キナ弱點ガアルト存ズルノデアリマス、故ニ政府ニ於カレマシテハ、此ノ國土ト人口政策ト云フ點ニ付キマシテ十分ノ用意ヲ致サレ、今日南方ヘト云フ聲ガ國民ノ心ヲ動カシテ居リマスル、サウシテ之ヲ無計畫ニ植民サセ、開發サセ、移民サセルト云フコトハ、此ノ本國ノ弱體化ヲ來ス虞ガアリマスノデ、是等ノ點ヲ十分ニ考慮サレシコトヲ希望スル者デアリマス(拍手)豫算委員會ニ於キマシテ東條總理大臣ガ、今日ノ戰爭ハ第一ガ人デアル、第二ガ訓練デアル、第三ガ物デアル、此ノ三ツノ要素ニ依ツテ今日ノ戰爭ガ行ハレルノダト申サレタ點ニ對シテ、吾々ハ多大ノ共鳴ヲ感ズル者デアリマス、尙ほ企畫院總裁竝ニ井野農林大臣ガ、日本ノ國土計畫ト食糧政策、或ハ農村對策ニ付キマシテ、日本ノ人口ノ四割例ヘバ我ガ日本帝國ノ如キ、或ハ「ドイツ」ノ日本國土ニ保有スル計畫デアルト申サレタ點モ、大イニ意ヲ強ウスルモノデアリマス、私ハ是等ノ點ニ鑑ミラレマシテ、政府ハ今後大東亞共榮圈建設ニ付テ、國土ト人口ノ問題ニ對シ十分ナル注意ヲ以テ其ノ對

策ヲ講ゼラレンコトヲ望ミマス(拍手)

第二ノ點ハ、南方ト北方トノ關聯ノ問題

デゴザイマス、今次大戰以來國民ノ心ハ南ヘ南ヘト向ツテ居リマス、私ハ是ハ自然ノ山ガ取レルノダ、南ニ行ツテ吾々ハ一儲ケシヨウト云フヤウナ考ヘヲ國民ガ持ツニ至リマスルコトハ、非常ニ危險ナ、憂フベキ現象デアル思フノデアリマス、大東亞建設ハ政府ノ申サルル如ク、日滿支ヲ中核トシテ、此ノ中核ヲ圍ンデ共存共榮ノ實ヲ擧ゲルノデアルト申サレテ居リマス、今日マデ日本ガ執ツテ來タ國策ガ、依然トシテ日滿支ノ一體化デアルコトガ日本ノ根本國策デアツタコトヲ、吾々ハ考ヘニ浮ベマス時ニ當ツテ、ヤハリ滿洲ハ日本ノ大陸政策ノ生アツタコトヲ、吾々ハ考ヘニ浮ベマス時ニ命線デアル、之ヲ吾々ハ忘レテハナリマセシメ、十分ニ南方ニ對スル知識ヲ涵養致シマシテ、其ノ正シキ理解ノ下ニ初メテ正シタル責任ト資格トヲ持タネバナリマセヌ、其ノ爲ニハ國民ヲシテ南方ヲ正シク理解セキ指導ガ行ハレルコトハ申スマデモナイノデアリマス、特ニ私ハ現在日本ニ居リマス、青少年、是等ノ教育及ビ將來吾々ノ志ヲ繼イテ生レ來ル所ノ子々孫々ニ對スル教育ト云フコトニモ思ヒヲ致シマシテ、政府ハ小學教育、中學教育ニ關シテ、是等ノ學校ノ讀本ニモ能ク大東亞戰爭ノ意義及ビ南手ノ北方向ニ住ム民族ト云フモノガ其ノ自然ノ環境ニ惠マレズ、或ハ風雪ト鬪ヒ、或ハ所謂剛毅、朴訥ノ氣風ガ養ハレテ行ラレ、所謂小國民ヲ指導スル小學校ノ先生

常ニ滅ビテ、北方民族ノミガ南ヘ

ト制壓ヲ加ヘテ行ツタト云フ、此ノ世

界ノ國々ノ興廢ノ歴史ノ教訓ヲ忘レテ

ハナラナイト信ズルノデアリマス(拍手)政

府ハ北方、南方互ヒニ睨合ハサレマシテ、

其ノ調節ヲ圖リ、以テ大東亞共榮圈ノ偉大ナル構想ヲ樹立サレムコトヲ希望スルモノ

デアリマス(拍手)

第四ニ、大東亞建設ト教育ノ問題デゴザ

イマス、我等國民ガ大東亞共榮圈ノ盟主デ

アリ、指導者デアル爲ニハ、優秀ノ指導者

タル責任ト資格トヲ持タネバナリマセヌ、

其ノ爲ニハ國民ヲシテ南方ヲ正シク理解セ

キ指導ガ行ハレルコトハ申スマデモナイノ

デアリマス、特ニ私ハ現在日本ニ居リマス

、青少年、是等ノ教育及ビ將來吾々ノ志ヲ繼

イテ生レ來ル所ノ子々孫々ニ對スル教育

ト云フコトニモ思ヒヲ致シマシテ、政府

ハ小學教育、中學教育ニ關シテ、是等ノ學

校ノ讀本ニモ能ク大東亞戰爭ノ意義及ビ

方ノ知識ヲ普及セラレ、或ハ大學、專門學

校ニモ南方ノ講座ヲ設クルノミナラズ、一

方ニ師範教育ニ對シテ根本的ナ改革ヲ企テ

ラレ、所謂小國民ヲ指導スル小學校ノ先生

ノ教育ニ對シテモ、非常ナル意ヲ用ヒラレ
ンコトヲ望ム者デアリマス、私ハ斯ウ云フ
教育上ノ大改革ヲ政府ガ企テラレテ、所謂
思想ニ依ル、教育ニ依ル大東亞ノ建設、大
東亞國民ノ指導ト云フコトガ、今次ノ我ガ
大理想ヲ顯現スル根本的ナ道デアルト考ヘ
日本ノ國民ニ課セラレタル所謂八絃一字ノ
アルノデアリマス、併シナガラ吾々ガ考ヘ
思想ニ依ル、教育ニ依ル大東亞ノ建設、大
東亞國民ノ指導ト云フコトガ、今次ノ我ガ
大理想ヲ顯現スル根本的ナ道デアルト考ヘ
日本ノ國民ニ課セラレタル所謂八絃一字ノ
アルノデアリマス、併シナガラ吾々ガ考ヘ

ルノデアリマス（拍手）政府ハ教育及ビ訓
練、人材ノ養成ニ努メラルベク、教育ノ一
大劃期的改革ヲセラレンコトヲ要望スル次
第デアリマス

最後ニ私が申上ゲタイコトハ、大東亞戰
爭ノ意義ヲ國民ニ十分ニ普及徹底セシメ
テ、長期的抗戰ニ對應スル體制ヲ執ツテ戴
キタイコトデアリマス、此ノ點ハ先程安藤
君ガ申サレタ通り、國民ハ既ニ如何ナル艱
苦缺乏ニモ耐ヘル覺悟ハシテ居リマス、併
シナガラ此ノ長期抗戰ト申シマスルカ、長イ
戰爭ノ旅路ヲ行キマスル内ニハ、或ハ弛ム
コトモアリマセウ、私ハ是等ノ點ヲ考ヘ
ルト、政府ニ於テモ非常ナル決心ヲ以テ、
國民ノ指導及ビ指導ノ凡ユル施設ヲ致サレ
ンコトヲ希望スルモノデアリマス、今日我
ガ皇軍ハ廣袤數千平方キロニ瓦ル地域ニ
思

ムルコトガ出來ナイ此ノ大ナル武勳ニ對シ
テハ、吾々ハ感謝感激措ク能ハザルモノガ
アルノデアリマス、併シナガラ吾々ガ考ヘ
ン「民族ト云フモノハ蛇ノヤウニ執念深イ特
性ヲ持ツテ居ル民族デゴザイマス、彼等ガ龐大ナル資源
イ民族デゴザイマス、彼等ガ龐大ナル資源
ト工業力トヲ以テ、凡ユル武器ヲ製造シテ
抗戰スルコトモ想像ニ難クアリマセヌ、又
彼等一流ノ思想戰、宣傳戰、或ハ金ノ力ヲ
以テ、凡ユル惡辣ナル魔手、手段ヲ以テ世
界ノ人々ノ擣亂ニ向ツテ來ルコトモ想像ニ
難クアリマセヌ、私共ハ今日一日々々ト「グ
レーント・ブリテン」ノ崩壊ヲ眼ノ前ニ見テ居
ルノデアリマスルケレドモ、併シ是等ノ點
ヲ考ヘテ、所謂百年千年ノ歴史ヲ作ル爲
ニハ、吾々日本國民ハ忍苦ト戰ヒ、缺乏ニ
耐ヘルベク覺悟ハシテ居リマスルガ、政府
ニ於カレマシテモ、此ノ國民ヲ五年十年ト
何時モ變ラナイ所ノ緊張ト感激ヲ以テ導イ
テ行クコトニ對シテ、亦大イナル努力ト決
心トガナクテハナラナイト考ヘルノデアリ
マス（拍手）東條首相ノ申サルルヤウニ、今
日此ノ戰時ニ當リマシテハ、法律萬能主義
ニ墮スルコトナク、又官吏獨善ニ陥ルコト
ガ不可能ダ、出來ナイノダト云フヤウナコ
トヲ考ヘル時ニ民族ノ滅亡ガアル、戰爭ハ
ヒ拔クノダト云フコトヲ申シテ居ラレマス
リス」ヲシテ、「アメリカ」ヲシテ一指モ染

民ノミナラズ、此ノ東亞ノ民族ヲ率キテ行
カレルト言ハレタノデアリマス、私ハ此ノ
長イ戰爭ノ旅路ニ於テハ、或ハ國民ノ中ニ
咽喉が渴ク者ガアル場合ニ於テハ水ヲ與ヘ
テ貰ヒタイ、或ハ先日總理ガ申サレタヤウ
ヒタイ、長イ旅路ヲスル間ニハ、ヤハリ國民
ニ休息モ必要デアリマセウ、或ハ娛樂モ必要
デアリマセウ、國民自身ハ如何ナル艱苦ニモ、
如何ナル困難ニモ耐ヘ忍ビ、戰ヒ抜ク決心
ハ持ツテ居リマスルガ、政府ノ方カラ見マ
スルト、長イ戰爭ノ旅路ヲ行ク間ニハ、此ノ
溫カイ親心ヲ以テ、國民ガ何處カ疲レテハ
居ラヌカ、何處カ困ツテハ居ラヌカト云フ
點ヲ十分ニ政治ノ上ニ氣ヲ付ケラレマシテ、
而シテ一方大東亞戰爭ト云フモノハ本當ニ
英米ヲシテ城下ノ盟ヲナサシメル、「ロンド
ン」ニ於テ、「ワシントン」ニ於テ彼等ノ首
ヲ押ヘテ、ドウダト云フ所マデ戰ヒ抜ク所
ニ吾々ノ戰爭ノ目的ガアルノデアリマス（拍
手）今日緒戰以來ノ赫々タル戰果ニ鑑ミテ、
大ナル決意ヲナスニ至ツタ其ノ果斷ト睿智
現内閣ガ深ク國民ノ眞意ヲ解シ、遂ニ重
大ナル決意ヲナスニ至ツタ其ノ果斷ト睿智
ト、而シテ其ノ氣魄トニ對シ、一億國民ガ
齊シク感歎措カザルコトハ、既ニ凡ユル機
會ニ於テ、凡ユル方面ノ國民ヨリ讀ヘラレ
ジマス（拍手）今ヤ現内閣ガ此ノ大ナル決意

テ國政ノ上ニ明カニシテ 聖意ニ副ヒ奉ラントスルモノガ、即チ此ノ豫算案デアリマス、今案ノ内容ヲ見マスレバ、豫算ニ盛ラレマシタル現内閣ノ思想ト、數字ニ計上セラレマシタル現内閣ノ思想ト、數字ニ計上セラレマシタル現内閣ノ思想ト、數字ニ計上セラレマシタル現内閣ノ思想ト、數字ニ計上セラレマシタル現内閣ノ思想ト、數字ニ計上セラレマシタル現内閣ノ思想ト、數字ニ計上セラレマシタル現内閣ノ思想ト、數字ニ計上セラレマシタル現内閣ノ思想ト、數字ニ計上セラレマシタル現内閣ノ思想ト、數字ニ計上セラレマシタル現内閣ノ思想ト、數字ニ計上セラ

ハ、政府ハ同ジク其ノ果斷ト敏智トヲ以テ一切ノ行掛リヲ棄テ、率直ニ之ヲ處置セラルベキコトヲ固ク信ジ、其ノ期待ノ下ニ之ニハ一切言及ハ致シマセヌ

日支事變ノ勃發致シマシテヨリ既ニ五年、此ノ間、口ニ國論ノ一致ガアツタトハ言ヘ、マシテ私カニ憂ヒヲ抱イタ者ハ、獨リ吾々ノミデハナカツタト信ジマス、然ルニ大詔一度下ルヤ舉國凜然トシテ一致シ、億兆皆心ヲニシテ、ソコニ寸毫ノ間隙モナキニ至リマシタルコトハ、何ト云フ偉大ナル國年ノ間ト云フモノ、陸軍ト海軍ト軍部兩當局ガ、默々トシテ苦心ヲ積ミ、日夜苦難ノ試鍊ニ堪ヘテ、今ヤ遂ニソレガ此ノ偉大ナル戰果トナツタト云フコトヲ思フト、私共ハ眞ニ頭ガ下リマス、感謝ニ堪ヘマセヌ(拍手)顧ミマスレバ十年前ノ十二月八日ハ、

我ガ松岡全権ガ「ジュネーブ」ニアツテ國際聯盟脱退ノ決意ヲ明カニシタ日デアリマス、ニ至ツテ米英ノ心臍ヲ寒カラシメタノデアリマス、即チ米英ニ對スル日本帝國國民ノ宣戰ノ決意ヘ、此ノ時ニ孕ンダモノデアルト云フコトヲ知ラナケレバナラヌ、爾來十年、之ヲ斷行シタルモノハ現内閣デアリマス、而モ日支事變勃發以來數ヘテ五年、早ク既ニ断ズベクシテ斷ズルコトノ出來ナカツタ所ニ、軍ニモ、政府ニモ、多大ノ苦心ガアツタ、其ノ苦心ガ遂ニ今日ノ成果トナツタコトヲ思ヒマス時ニ、感慨ノ頗ル無量ナルモノガアリマス

此ノ場合現内閣ニ對シ一言致シタイコトハ、内閣ノ輝カシイ功績ハニ赫タル武勳ニアリマシテ、未ダ政治ノ事實ニ存スルモノガアリマセヌ、政治ノ苦心ハ、武勳ガ至リマシタルコトハ、何ト云フ偉大ナル國民性ノ發露デアリマセウ(拍手)而モ此ノ五年ノ間ト云フモノ、陸軍ト海軍ト軍部兩當局ガ、默々トシテ苦心ヲ積ミ、日夜苦難ノ試鍊ニ堪ヘテ、今ヤ遂ニソレガ此ノ偉大ナル戰果トナツタト云フコトヲ思フト、私共ハ眞ニ頭ガ下リマス、感謝ニ堪ヘマセヌ(拍手)顧ミマスレバ十年前ノ十二月八日ハ、

之ヲ排撃スルニ躊躇ゼラレテハナラヌト信

ジマス(拍手)言フマデモナク戰爭ハ樂觀ヲシテハナリマセヌ、併シ國民ニ希望ヲ持タセズシテハ戰爭目的ノ完遂ト云フコトハ斷

ジテ期待スルコトガ出來マセヌ、サレバ政府ハ此ノ豫算ノ實行ニ當リマシテモ、國民ト國民ノ生活トニ對シ、常ニ明朗ナル希望ヲ抱カシメルコトニ關シ、常ニ念々怠ツテハナリマセヌ、吾々ハ總理大臣ノ希望ニ應ハナリマセヌ、吾々ハ總理大臣ノ希望ニ應

一括議題トナスニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

○議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマ

ジ、必ズ國政ニ協力スルコトヲ誓フモノデ

アル、サレバ内閣ハ希クハ全力ヲ擧ゲテ、

此ノ當面ノ大東亞戰爭ニ勝ツテ、勝チ拔

クコトニ對シテ萬遺漏ナカラシコトヲ期セ

ラレントヲ切望ニ堪ヘマセヌ(拍手)

以上豫算案ニ關シ政府ニ激勵ノ辭ヲ呈シ

マシテ、茲ニ賛成ノ意ヲ明カニスルモノデ

アリマス(拍手)

○議長(田子一民君) 是ニテ討論ハ終局致シマシタ、是ヨリ採決ニ入りマス、但シ總

豫算案中皇室費ハ協賛ヲ要セザル費目デア

リマスカラ之ヲ除キマス、七案ヲ一括シテ採決致シマス、委員長報告ハ何レモ可決デアリマス、七案ヲ委員長報告ノ通り決スル

○議長(田子一民君) 是ニテ討論ハ終局致

シマシタ、是ヨリ採決ニ入りマス、但シ總

豫算案中皇室費ハ協賛ヲ要セザル費目デア

リマスカラ之ヲ除キマス、七案ヲ一括シテ採決致シマス、委員長報告ハ何レモ可決デアリマス、七案ヲ委員長報告ノ通り決スル

○議長(田子一民君) 是ニテ討論ハ終局致

シマシタ、是ヨリ採決ニ入りマス、但シ總

豫算案中皇室費ハ協賛ヲ要セザル費目デア

リマスカラ之ヲ除キマス、七案ヲ一括シテ採決致シマス、委員長報告ハ何レモ可決デアリマス、七案ヲ委員長報告ノ通り決スル

○議長(田子一民君) 是ニテ討論ハ終局致

シマシタ、是ヨリ採決ニ入りマス、但シ總

豫算案中皇室費ハ協賛ヲ要セザル費目デア

リマスカラ之ヲ除キマス、七案ヲ一括シテ採決致シマス、委員長報告ハ何レモ可決デアリマス、七案ヲ委員長報告ノ通り決スル

○議長(田子一民君) 是ニテ討論ハ終局致	第八 米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)	第一讀會ノ續(委員長報告)	第一讀會ノ續(委員長報告)	第一讀會ノ續(委員長報告)
○議長(田子一民君) 是ニテ討論ハ終局致	第九 木炭需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)	第一讀會ノ續(委員長報告)	第一讀會ノ續(委員長報告)	第一讀會ノ續(委員長報告)
○議長(田子一民君) 是ニテ討論ハ終局致	第十 食糧管理法案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)	第一讀會ノ續(委員長報告)	第一讀會ノ續(委員長報告)	第一讀會ノ續(委員長報告)
○議長(田子一民君) 是ニテ討論ハ終局致	第十一 資本臨時補足ニ關スル法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長報告)	第一讀會ノ續(委員長報告)	第一讀會ノ續(委員長報告)	第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一米穀需給調節特別會計法中改正法律案
(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和十七年二月二日

委員長 三善 信房

衆議院議長田子一民殿

報告書

一木炭需給調節特別會計据置運轉資本臨
時補足ニ關スル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和十七年二月二日

委員長 三善 信房

衆議院議長田子一民殿

報告書

一食糧管理法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和十七年二月二日

委員長 三善 信房

衆議院議長田子一民殿

(三善信房君登壇)

○三善信房君 只今議題トナリマシタ米穀

需給調節特別會計法中改正法律案外二件ニ付キ、委員會ニ於ケル審議ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ダマス

委員會ハ去ル一月二十三日ヨリ開會致シマシテ、昨日マデ九回、或ハ祕密會ヲ開キ、政府ノ説明ヲ聽キ、慎重ニ審議ヲ盡シタノデアリマス、先づ法案ノ内容ニ付キマシテ申シマスレバ、食糧管理法案ノ要旨ルコトデアリマス、第二ハ主要食糧ノ配給機構ヲ整備シ、食糧營團ヲ創設セシメマシハ、第一主要食糧ノ國家管理ヲ一層強化スルコトデアリマス、第三ハ右食糧當セシムルコトデアリマス、第四ハ貯藏ヲ實施セシムルコトデアリマス、以上ノ三點ガ法案ノ主ナル點デアリマス、中央食糧營團ノ資本金ハ一億圓デアリマシテ、政府ハ五千万圓ヲ限リ出資致シマス、而シテ拂込資本金額ノ五倍ヲ限り、食糧營團債券ヲ發行シ得ルコトニナツテ居リマス、地方營團ハ地方ノ實情ニ應ジマシテ資本金ガ決メラレルコトニナツテ居リマス、此ノ營團ニテ取扱ヒマス主要食糧ハ、米麥、甘藷、馬鈴薯又ハ是等ノ加工品等デアリマス

次ニ米穀需給調節特別會計法中改正法律案ニ付テ申上ダマス、本案ハ米穀等ニ關スト交流ノ問題デアリマス、大東亞戰爭ノ赫赫タル戰果ノ擴張ニ伴ヒマシテ、豊富ナル南方ノ食糧資源ガ我ガ把握下ニ入りマシタル諸法律ヲ整備シ、食糧管理法ヲ制定スルニ伴ヒマシテ、從來ノ米穀需給調節特別會計法ノ名稱ヲ變更スルコトガ第一點デアリマス、次ニハ之ニ關聯致シマシテ、國債整理基金特別會計法中ニ改正ヲ要スル點等ガアルノデアリマス

次ニ木炭需給調節特別會計据置運轉資本臨時補足ニ關スル法律案ニ付テ申上ダマス、本法律案ノ内容ハ、木炭需給ノ現狀ニ鑑ミマシテ、其ノ需給ノ圓滑ヲ期スル爲ニ當時相當多量ノ木炭ヲ貯藏致シマス關係上、本會計ノ据置運轉資本百万圓ニ不足ヲ生ズル場合ニ、九百万圓ヲ限り臨時補足シ得ルコトトナツテ居リマス、之ニ依ツテ會計ノ圓滑ナル運營ヲ圖ラントスルコトガ本案ノ骨子トスル所デアリマス

右三案ニ付キマシテハ多數委員諸君ヨリ質疑ガアリマシタ、之ニ對シマシテ政府當局ノ答辯ガアリマシタ、詳細ニ付キマシテハ速記録ニ就キ御承知ヲ願フコトニ致シマシテ、質疑應答ノ主ナル點ニ付キマシテ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス

第一ハ、東亞共榮圈ニ於ケル食糧ノ生產要食糧ノ擴張ニ伴ヒマシテ、豐富ナル南方ノ食糧資源ガ我ガ把握下ニ入りマシタル戰果ノ擴張ニ伴ヒマシテ、農村ガ如何ニ高度國防國家ノ見地カラ大切人デアリマス、是等ノ事態ヲ見マシテモ、農村ガ如何ニ高度國防國家ノ見地カラ大切デアルカト云フコトが明瞭デアリマス(拍手)、隨テ内地農村ニ對シマシテハ、物心兩方面ヨリ必要ナル施策ヲ講ズルト共ニ、主食糧ハ内外地ヲ通ズル日本帝國內ニ於テ自給自足スルコトヲ基礎ト致シテ、東西共榮圈内ノ食糧政策ヲ樹立セナケレバナラヌト云フコトヲ言明致サレタノデアリマス、尙ホ他ノ農作物ニ付キマシテハ、適地適作主義ヲ以テ進ム方針デアリ、滿洲開拓民ニ付キマシテハ、既定ノ國策トシテ飽クマデ是ガ遂行ヲ期スル考ヘデアル、而シテ南方ニ對シテハ技術知識ニ重點ヲ置キ、指導者

ヲ送ツテ指導ニ當ラシメル方針デアルトノコトデアリマス

第二點ハ、戰時下ニ於ケル主要食糧ノ確能ノ面積等ヨリ考ヘマシテ、果シテ食糧ノ需給ヲ持続シ得ルヤトノ質問ニ對シマシテ、我國人口增加ノ趨勢ト、耕地擴張可

シテ、我國人口增加ノ趨勢ト、耕地擴張可能ノ面積等ヨリ考ヘマシテ、果シテ食糧ノ需給ヲ持続シ得ルヤトノ質問ニ對シマシテ、我カ五百六十萬戸ノ

政府ノ管轄ハ、主トシテ農地開發營團等ニ依ツテ五十万町歩ノ田畠ヲ開墾シ、其ノ他耕地ノ改良、耕種ノ改善等ニ依ツテ米麥ノ增產ヲナスト共ニ、甘藷、馬鈴薯等ノ增產ニ依ツテ、人口增加ニ伴フ食糧ノ自給自足

増產ヲナスト共ニ、甘藷、馬鈴薯等ノ增產ニ依ツテ、人口增加ニ伴フ食糧ノ自給自足

耕地ノ改良、耕種ノ改善等ニ依ツテ米麥ノ增產ヲナスト共ニ、甘藷、馬鈴薯等ノ增產ニ依ツテ、人口增加ニ伴フ食糧ノ自給自足

スル所デアリマス

第三點ハ肥料ニ關スルコトデアリマス、

食糧增產上、肥料、勞力、資材ハ最モ必要トル所デアリマスルガ、就中來年度ノ肥料如何ナル程度ニ配給サルルヤ、農村ハ今カラ之ニ對スル所ノ心構ヘガ必要デアルノデ、此ノ際配給肥料ノ數量ヲ明確ニセラレタイ、尙ホ肥料ノ一元的配給、又ハ單肥

配給、是ハ農村ノ輿論デアル、殊ニ配給ニ當リ從來ノヤウニ、產業組合ト商業組合ガ實績争ヒノ爲ニ、我カ五百六十萬戸ノ

農家ニ不便ト苦痛ヲ與ヘルガ如キコトハ絶対ニ避ケナケレバナラヌ、之ニ對スル政府ノ方針ヲ承リタイトノ質疑ガアリマシタ、

之ニ對シマシテハ政府ハ、肥料配給ノ數字ニ付テ申上ゲルコトハ差控ヘタイガ、前年ト比較シテ硫酸「アンモニア」ハ八〇%デアリ、過磷酸石灰ハ五〇%デアリ、加里鹽ハ殆ド配給出來ス、隨テ無畜農家ノ解消、所謂有畜農業ニ依ツテ、勞力ノ節約ト自給

肥料ノ增產ニ依リ食糧ノ確保ヲシテ貰ハナリマス、尙ホ主要食糧ノ内外地ニ於ケル自給方針ニ關シマシテハ、祕密會ニ於テ東亞共榮圈内ノ食糧事情等ト共ニ詳細ニ瓦爾數字的ナ説明ガアリマシタガ、茲ニ御報告申上ゲルコトヲ差控ヘマスクトハ甚ダ遺憾トスル所デアリマス

ケレバナラヌ、但シ將來ノ肥料計畫トシテハ、今回ノ赫々タル戰果ニ依リマシテ、南洋方面ヨリ磷礦石ガ新タニ入り得ル見透シモ付イタノデ、過磷酸石灰ノ如キハ相當殖ヤシ得ルト思フ、又硫酸「アンモニア」ノ增產モ、燃料等ノ關係ニ於テ段々明ルクナツテ參ツタノデ、今暫ク我慢シテ貰ヘバ、必ず農村ニ必要量ノ肥料ヲ供給スルコトガ出來ルトノ最モ力強キ答辯ガアリマシタ、肥料料ガ如何ナル程度ニ配給サルルヤ、農村ハノ一元的配給及ビ單肥配給ニ付キマシテハ、成ベク實情ニ即シ、農村ノ希望ニ副フヤウノデ、此ノ際配給肥料ノ數量ヲ明確ニセラレタイ、尙ホ肥料ノ一元的配給、又ハ單肥

ノ決定方法ハ、生産者及ビ消費者双方ニ取リマシテ重大ナル問題デアリマス、農民ハ時局ヲ認識シ、何等ノ不平不満モナク一生懸命ニ増產ニ努力シテ居リマス、ソコデ農

村ノ生產スル所ノ生產物ニ對シテハ、少ク然ルニ現在ノ麥ノ價格ハ生產費以下ニナツテ居ルト思フガ、是等ノ價格ハ如何ニシテ決定スルカトノ質問ガアリマシタガ、之ニ對シマシテ政府ハ、米ニ付テハ從來ノ生產費及ビ家計費ヲ調査シ、所要ノ改善ヲ加ヘ、

肥料ノ增產ニ依リ食糧ノ確保ヲシテ貰ハナリマス、尙ホ主要食糧ノ内外地ニ於ケル自給方針ニ關シマシテハ、祕密會ニ於テ東亞共榮圈内ノ食糧事情等ト共ニ詳細ニ瓦爾數字的ナ説明ガアリマシタガ、茲ニ御報告申上ゲルコトヲ差控ヘマスクトハ甚ダ遺憾トスル所デアリマス

ケレバナラヌ、但シ將來ノ肥料計畫トシテハ、今回ノ赫々タル戰果ニ依リマシテ、南洋方面ヨリ磷礦石ガ新タニ入り得ル見透シモ付イタノデ、過磷酸石灰ノ如キハ相當殖ヤシ得ルト思フ、又硫酸「アンモニア」ノ增產モ、燃料等ノ關係ニ於テ段々明ルクナツテ參ツタノデ、今暫ク我慢シテ貰ヘバ、必ず農村ニ必要量ノ肥料ヲ供給スルコトガ出來ルトノ最モ力強キ答辯ガアリマシタ、肥料

料ガ如何ナル程度ニ配給サルルヤ、農村ハノ一元的配給及ビ單肥配給ニ付キマシテハ、成ベク實情ニ即シ、農村ノ希望ニ副フヤウノデ、此ノ際配給肥料ノ數量ヲ明確ニセラレタイ、尙ホ肥料ノ一元的配給、又ハ單肥

速カニ致シタイ積リデアルトノコトデアリマス、尙ホ價格ノ決定ニ付キマシテハ、食糧管理委員會ヲ設置シテ之ニ諸問スルトノ說明ガアリマシタ

第五點ハ、農村多年ノ要望タル米麥等ノ糧管理委員會ヲ設置シテ之ニ諸問スルトノ說明ガアリマシタ

ハ、淘ニ滿足スル所デアリマスルガ、政府買上ノ便宜上、検査ヲ政府自ラガ施行スルニ當リ、検査手數料ヲ生產者ヨリ徵收シ、

農民ノ負擔トナスコトハ寧ロ此ノ際之ヲ廢止シテ、検査ニ要スル費用ヲ國庫ノ負擔トスベキデハナイカトノ質疑ニ對シマシテハ、

政府ハ、現在検査手數料ハ生產費中ニ含マレテ居ルノデ、從來ヨリ高クナラヌ限度ニ於テ全國一律ニ手數料ノ徵收ヲナスコトトシタノデアルガ、今後價格改定等ノ際十分

政府ハ、現在検査手數料ハ生產費中ニ含マレテ居ルノデ、從來ヨリ高クナラヌ限度ニ於テ全國一律ニ手數料ノ徵收ヲナスコトトシタノデアルガ、今後價格改定等ノ際十分

政府ハ、現在検査手數料ハ生產費中ニ含マレテ居ルノデ、從來ヨリ高クナラヌ限度ニ於テ全國一律ニ手數料ノ徵收ヲナスコトトシタノデアルガ、今後價格改定等ノ際十分

政府ハ、現在検査手數料ハ生產費中ニ含マレテ居ルノデ、從來ヨリ高クナラヌ限度ニ於テ全國一律ニ手數料ノ徵收ヲナスコトトシタノデアルガ、今後價格改定等ノ際十分

政府ハ、現在検査手數料ハ生產費中ニ含マレテ居ルノデ、從來ヨリ高クナラヌ限度ニ於テ全國一律ニ手數料ノ徵收ヲナスコトトシタノデアルガ、今後價格改定等ノ際十分

第六點ハ、甘藷、馬鈴薯ノ價格ニ付キマシテ、生產者ノ販賣價格ト消費者ノ購買價格トノ間ニ餘リニモ多クノ開キガアルコトヲ例示セラレマシテ、此ノ儘ニ放任スル時

穀麥ノ現在ノ價格ハ、色々ノ事情カラ考へマシテモ比較的安イデハナイカト考ヘテ居リマス、隨テ政府ガ買入レル場合ニ於キマシテハ、其ノ買入ノ操作、或ハ銘柄、或ハ

出スカ、何等カノ方法ヲ講ジナケレバナラ格差ノ整理等ニ依ツテ、或ル程度ノ修正ヲ

ヌデハナイカトノ質疑ニ對シマシテ、政府ハ、國家目的達成ノ爲ニハ甘譲、馬鈴薯ノ統制ハ必要デアル、生産者ノ販賣價格ト消費者ノ購買價格トノ間ノ開キガアルノハ、運賃其ノ他腐敗率ヲ見込シダ爲メデアツテ、統制會社其ノモノノ手數料ハ決シテ高クハナイ、而シテ從來生産者ガ賣ツテ居タ値段ヨリモ安クナラヌコト、尙ホ消費者ガ從來買ツテ居タ値段ヨリモ高クナラスコトヲ原則トシテ決メタノデアルガ、地方的ニハ不合理ノ點モアルヤモ知レヌカラ、是等ノ點ニ付テハ今後十分考究ノ上、本年秋ニ於テ改正スキ點ガアレバ改正スルニ咨カデナイトノ答辯ガアリマシタ（拍手）

第七點ハ、國民ノ食糧上米麥ニ次グ最モ大切ト唱ヘラレテ居ル所ノ味噌、醤油ノ問題ニマデ質問ガ及ンダノデアリマス、國民健康ノ増進ヲ圖ルコトハ時局下最モ重大ナコトデアリマスガ、政府ハ最近國民大衆ノ榮養上缺クベカラザル味噌、醤油ノ二割制限ヲサレマシタ、然ルニ之ニ要スル原料大豆ハ必ズシモ多クヲ要セヌト思フ、國民ハ如何ナル艱難辛苦デモ忍ンデ行キマスガ、セメテ大衆ノ食糧品デアル所ノ味噌汁位ハ餘リ制限セヌヤウニシテハ如何（拍手）斯ウ云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シマシ

テ政府ハ、大豆ノ國內生産及び滿洲方面ヨリノ輸入大豆ノ狀況ヨリ、最低限度ノ味噌ヲ國民ニ公正ニ供給スル爲メ、配給統制規則ヲ制定シタノデアルガ、國內ノ增産又ハ輸入ノ增加ヲ積極的ニ圖ツテ、成ベク多ク供給スルヤウニ最善ノ努力ヲナストノコトニアリマシタ

第八點ハ食糧營團ニ關シテノ質問デアリマス、今回設立セントスル食糧營團ハ、營利性ヲ脫シタル公共的配給機關デアルカラ、從來ノ國策會社ニ見ルガ如ク、例ヘバ國策會社が出來マスルト、或ハ生産者ニハ代金ノ支拂ガ一箇月或ハ半年遅レテ交付サレル、消費者ハ從來消費者ノ家庭マデ配給セラレテ居ツタノガ、ソレガ配給所ニ行ツテ行列ヲナサケレバ物一つガ買ヘナイ、斯ウ云フヤウナコトハ生産者、消費者ニ對シテ餘リニ不利、不便苦痛ヲ興ヘルノデアルカラ、是等ノ事ノナイヤウニシナケレバイカナイ、ソレニハ非能率化、或ハ官僚化ヲ矯正シテ、民意ニ副フヤウニシナケレバナラヌ、之ニ對スル政府ノ所見如何トノ質問ガアリマシタガ、政府ハ、營團ノ官僚化ヲ避ケル爲ニハ、營團ノ内部ニ指導訓練ノ施設ヲナサシメ、又ハ役職員ハ民間ノ經驗者ヲ加ヘ、其ノ運營ヲ適正ナラシムルトコトデアリマシタ

第九點ハ木炭ノ增産計畫ノコトデアリマス、木炭ノ增産計畫ノ完遂ヲ期スルニハ、國民ニ公正ニ供給スル爲メ、配給統制規則ヲ制定シタノデアルガ、國內ノ增産又ハ輸入ノ增加ヲ積極的ニ圖ツテ、成ベク多ク供給スルヤウニ最善ノ努力ヲナストノコトニアリマス、然ルニ現在消費地ニハ木炭ガ動モスレバ不足ヲ來シテ居ルノニ、生産シタル山元ニハ多量ノ木炭ガ滯荷シテ、生産者ハ搬出ガ出來ズ、非常ナル迷惑ヲ生ジテ、是ガ爲メ生産ニ大ナル支障ヲ來シテ居ルガ、政府ハ之ニ對シテ如何ナル對策ガアルカトノ質問ニ對シマシテ、政府ハ、木炭ノ輸送ニ關シテハ牛馬ノ利用、「ガソリン」ノ特別配給其ノ他勤勞奉仕等ニ依ツテ、山元カラ驛マデノ小運送ヲ確保シテ居リ、或ハ貨車、船舶ニ依ル所ノ大運送ニ付テハ毎月ノ運送計畫ヲ立て、遺憾ナキヲ期シテ居ルトノ答辯ガアリマシタ、尙ホ木炭ノ切符制度ヲ擴充實施スル意圖ナキヤトノ質疑ニ對シマシテハ、政府ヨリ、現在全國ニ對シテ約二千六百ノ市町村ニ於テ、木炭ノ切符制度ヲ實施ジテ居ルガ、木炭配給ノ適正及ビ消費ノ節約ヲ期スル爲メ、將來尙ホ是ガ擴充ヲナス積リアルトノ答辯ガアリマシタ

最後ニ農業保險制度ノ改革及ビ農業團體統合ノ問題デアリマス、此ノ二制度ハ今期スル爲メ、團體統合ノ問題ニ付キマシテハ、團體統合ノ問題ニ付キマシテハ、統合議會ニ必ズ提案セラルモノト思ツタノニ、是ガ提案ヲ見ナカツタノデ、頗ル熱心ニ質疑ガ行ハレタノデアリマス、即チ現行農業保險制度ノ改革ハ農村ノ絕對的要望デアリマス、然ルニ是ガ根本的改革ニ付テハ何等ノ手ヲ着ケナイノミナラズ、明年度ヨリ保険料ノ相當率ノ引上ヲ實行スルコトニナツテ居リマス、甚ダシキニ至リマシテハ、保険料ガ從來ヨリモ五倍、或ハ六倍ノ保険料ノ引上トナツテ居ルノデアリマス、斯様ニ保険料ノ引上ノミヲナシ、保険制度ノ根本的改革ヲナサナケレバ、折角設立サレタル所ノ保険組合モ解散ノ已ムナキニ至ルデハナイカ、斯様ニ憂慮セラルノデアル、政府ハ保険制度ノ改革ヲ速力ニナサナケレバナラヌト思フ、然ラザレバ政府ノ企圖スル所ノ增産計畫ノ目標ヲ達スルコトハ出來スデハナイカト云フ質問ガアリマシタ、之ニ對シテ政府ハ、保険制度ノ擴充ノ必要性ハ十分承知シテ居ル、隨テ冷害對策ニ付テモ共濟制度ノ途ヲ開クベク本議會ニ提案シテアル次第デ、保険制度ノ根本的改革ニ付テハ國庫ノ財政負擔ノ程度ト農業增產及ビ農家經濟ノ安定等ヲ考ヘ、成案ヲ得次第速力ニ提案スル積リデアルトノ答辯デアリマシタ、團體統合ノ問題ニ付キマシテハ、統合ノ必要アルコトハ論ヲ俟タナイ所デアリマスルガ、今議會ニ於ケル提出議案ハ緒戦目

ヲ以テ豫算外支出ヲ致シマシタ金額ハ一億千

八百八十万圓ヲ加ヘマスレバ、臨時軍事費

特別會計へ繰入補足ノ合計額ハ一億九千三

百四十餘万圓トナルノデアリマス、而シテ

臨時軍事費特別會計ニ於キマシテハ、昭和

十六年十月ヲ以テ其ノ豫備費ハ拂切トナリ

マシタル爲メ、同年十一月一日及ビ同年同

月五日ノ二回ニ瓦リ、右ノ歳入金ヲ以テ是

ト同額ノ豫算超過支出ヲ致シタノデアリマ

シテ、其ノ内譯ハ、陸軍省所管ニ於テ一億

六千四百六十餘万圓、海軍省所管ニ於テ二

千八百八十万圓ト相成ツテ居ルノデアリマ

ス

次ニ昭和十六年度ニ於テ第一豫備金ヲ以

テ豫算外支出ヲ致シマシタ特別會計ハ、關

東局、朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳及

ビ南洋廳ノ五特別會計デアリマス、又豫備

金外ニ於テ其ノ歲入金又ハ國庫剩餘金ヲ以

テ豫算超過又ハ豫算外ノ支出ヲ致シマシタ

モノニハ、造幣局、關東局、朝鮮總督府、

臺灣總督府、樺太廳及ビ南洋廳ノ六特別會

計ガアルノデアリマス、何卒御審議ノ上

速カニ御承諾アラソコトヲ希望致シマス

(拍手)

○議長(田子一民君) 各件ノ審査ヲ付託ス

ベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮り致シマス

○依光好秋君 日程第十一ハ政府提出日本

銀行法案外二件委員ニ併セ付託セラレンコ

トヲ望ミマス

○議長(田子一民君) 依光君ノ動議ニ御異

議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○依光好秋君 議事日程追加ノ緊急動議ヲ

提出致シマス、即チ此ノ際政府提出、國民

體力法中改正法律案、國民醫療法案、健康

保險法中改正法律案、國民健保法中改

正法律案、戰時災害保護法案及ビ簡易生

命法中改正法律案ノ六案ヲ一括議題トナ

シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メ

ラレントコトヲ望ミマス

○議長(田子一民君) 依光君ノ動議ニ御異

議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ日程ハ追加セラレマシタ、國民體

力法中改正法律案、國民醫療法案、健康保

險法中改正法律案、國民健康保險法中改正

法律案、戰時災害保護法案、簡易生命保

險法中改正法律案、右六案ヲ一括シテ第一讀

會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマ

ス――紫安新九郎君

候此段及報告候也

昭和十七年二月三日

委員長 紫安新九郎

衆議院議長田子一民殿

國民體力法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
國民醫療法案(政府提出)

健康保險法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
國民健康保險法中改正法律案(政府提
出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
戰時災害保護法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)
簡易生命保險法中改正法律案(政府提
出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)
簡易生命保險法中改正法律案(政府提
出)

第一讀會ノ續(委員長報告)
衆議院議長田子一民殿

委員長 紫安新九郎

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和十七年二月三日

昭和十七年二月三日

委員長

紫安新九郎

衆議院議長田子一民殿

報告書

一簡易生命保険法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十七年二月三日

委員長 紫安新九郎

衆議院議長田子一民殿

ト認ムルモノハ、日本醫療團ニ關スル點デアリマス、此ノ日本醫療團ハ、國民體力ノ向外ニ關スル國策ニ即應シ、醫療ノ普及ヲ圖ルヲ以テ目的トシタモノデ、其ノ資本金ハ一億圓デアリ、政府モ亦一億圓ヲ日本醫療團ハ出資スルノデアリマス、日本醫療團ハ政府ノ拂込ミタル出資金額ノ五倍ヲ限リ、政府ニ出資スルノデアリマス、日本醫療團ハ

及ビ利息ノ支拂ヲ保證スルノデアリマス

右申上ゲマシタ日本醫療團ニ關ズル問題

ニ付キ質疑ガナサレタノデアリマス、即チ日本醫療團ハドウ云ノ目的ヲ以テ之ヲ設立ス

如キ質疑ガナサレタノデアリマス、即チ日本醫療團ハドウ云ノ目的ヲ以テ之ヲ設立ス

○議長（田子一民君） 只今三笠宮殿下御退場アラセラレマス、諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

〔總員起立敬禮〕

〔三笠宮崇仁親王殿下御退場〕

○議長（田子一民君） 御着席ヲ願ヒマス
〔紫安新九郎君登壇〕

○紫安新九郎君 只今上程セラレマシタ國民體力法中改正法律案外五件ニ關シ、委員會ニ於ケル審議ノ經過及ビ結果ヲ申上ダマス、右六件ニ關スル法律案ニ於テ最モ質問

ノ集中セラレマシタモノハ國民醫療法案デアリマス、此ノ法案中ニ於テ最モ重要ナリ

ト認ムルモノノミヲ統合スル方針デアル、尙

フ明カニスル爲ニ、更ニ是ノ質疑ヲ取纏メマシテ、總括的ニ、第一ニ日本醫療團ノ

目的如何、第二ニ其ノ業務ハ如何、第三ニ

統合ノ方法ハ如何、第四ニ其ノ經營方針ハ

如何、第五ニ開業醫トノ關係ハ如何、第六ニ

總裁以下役員ノ選任等ニ關シ政府ノ方針

如何ヲ質シマシタ所、小泉厚生大臣ヨリ次

ノ如キ答辯ガアツタノデアリマス

即チ日本醫療團ハ、第一ニ其ノ目的ハ結

核ノ撲滅ト、無醫地域ノ解消ヲ目標トシ、

併セテ醫療内容ノ向上ヲ圖ラントスルニア

ルト云フノデアリマス、第二ニ其ノ業務ニ

關シマシテハ、日本醫療團ハ前記ノ目的ヲ

達成スル爲ニ、先づ結核療養所十万床ヲ目

標トシテ、新タニ八万床ヲ全國必要ナル地

ニ急速ニ新設シテ、是ガ經營ニ當ルト共

ニ、無醫地域ニ對シテハ其ノ急速ナル解消

ヲ目指シ、必要ナル診療所及ビ地方綜合病

院ヲ新設シ、之ヲ經營スルノデアルガ、本

團ニ於テハ單ニ是等新設ノ病院、診療所ヲ

經營スルノミニ止マラズ、既存ノ醫療機關ヲモ或ル程度ハ本團ノ經營ニ移シ、中央地

域ノ集中セラレマシタモノハ國民醫療法案デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、

及ビ論議ガ重ネラレマシテ、之ニ對シテ政

府當局ヨリソレドク答辯ガアリマシタガ、

アリマス、此ノ法案中ニ於テ最モ重要ナリ

ト認ムルモノノミヲ統合スル方針デアル、尙

フ有スル醫療機關ハ、之ヲ本團ニ統合スル

考へハナイト云フノデアリマス、第三ニ統

合ノ方法トシテハ、買收、借受、現物出資

等ノ途ヲ考へテ居ルノデアツテ、統合ニ付

テハ何處マデモ當事者間ノ協議ニ依リ、圓

滿ニ之ヲ行ハシムル方針デアル、體系整備

ノ爲ニドウシテモ統合ノ必要ガアル場合ニ

當リ、當事者間ノ協議ノ調ハザル場合ニ於

テハ、主務大臣ハ官民合同ノ審査機關ノ審

議ヲ經テ、其ノ決定ヲナス途ヲ開イテアル

ト云フノデアリマス、第四ニ日本醫療團ノ

經營方針ハ、一般醫療ノ部門ト、結核ノ部

門トニ分ツテ考へテ居ルト云フコトデアリ

マス、結核ノ部門ニ付テハ、其ノ性質カラ

考ヘテ收支相償フコトヲ期待スルコトヲ得

ナイノデ、之ニ對シテハ、政府ニ於テ毎年度

必要ナル補助ヲナスコトトナツテ居ルト云

フノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、

大藏當局ヨリモ同一ノ趣旨ノ答辯ガアツタ

ノデアリマス、第五ニ日本醫療團ト開業醫

トノ關係ニ付テハ、將來醫療團ハ開業醫ニ
協力シ、其ノ發達ニ寄與セシムル方針デア
ルト云フノデアリマス、第六ニ役員ノ選任
方針ニ付テハ、醫界ノ全體ニ信望モアリ、
且ツ本團ノ事業ノ運營ノ點カラモ最モ適任

者ヲ、視野ヲ廣クシテ簡拔致シタイト考ヘ
テ居ル、本團ノ設立ガ醫療ノ官僚化ヲ招來
スルコトノナイヤウニ十分注意シテ行ク方
針デアルト云フノデアリマス

斯クシテ討論ニ入ルニ際シマシテ、委員
長ハ更ニ斯様ナ質問ヲ致シマシタ、一、府
縣醫師會長ハ地方長官ガ之ヲ推薦シ、厚生
大臣之ヲ任命スルコト、此ノコトハ勅令制
定ノ際考慮セラレタキコト、二、醫療團ガ
地方ニ診療所ヲ設クル場合ハ、其ノ地區ニ
於ケル醫師會ト協調シ、成ベク地方ノ實情
ニ副フヤウ醫師會ノ希望ヲ容ルルコト、右
ノ質問ニ對シテ、小泉厚生大臣ヨリ斯様ナ
答撃ガアリマシタ、一、道府縣醫師會長ノ
任命方法ニ關スル問題ニ付キマシテハ、勅
令制定ノ際篤ト考慮致シマス、二、日本醫療
團ノ地方診療所設立ノ際ニ於ケル道府縣醫
師會トノ協調ニ付テハ、御希望ノ通り措置
セシムル考ヘデアリスト云フノデアリマ
ス

シテハ、厚生大臣ヨリ明確ナル答撃ガアツ
タノデアリマス、以上ハ質疑應答ノ中ノ重
要ナル點ヲ拾ヒ上ゲテ申上ゲタノデアリマ
ス、斯ク致シマシテ、質疑ヲ終ツテ討論
ニ入り、國民體力法中改正法律案外五件ニ
要ナル點ヲ拾ヒ上ゲテ申上ゲタノデアリマ
ス、斯ク致シマシテ、質疑ヲ終ツテ討論

ニ入り、國民體力法中改正法律案外五件ニ
要ナル點ヲ拾ヒ上ゲテ申上ゲタノデアリマ
ス、斯ク致シマシテ、質疑ヲ終ツテ討論
ニ入り、國民體力法中改正法律案外五件ニ
要ナル點ヲ拾ヒ上ゲテ申上ゲタノデアリマ
ス、斯ク致シマシテ、質疑ヲ終ツテ討論

○議長(田子一民君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ直チニ六案ノ第二讀會ヲ開キ、議
案全部ヲ議題ト致シマス

國民體力法中改正法律案

○議長(田子一民君) 第二讀會(確定議)

國民醫療法案 第二讀會(確定議)

戰時災害保護法案 第二讀會(確定議)

簡易生命保險法中改正法律案 第二讀會(確定議)

國民健康保險法中改正法律案 第二讀會(確定議)

第一讀會(確定議)

第一讀會(確定議)

第一讀會(確定議)

第一讀會(確定議)

第一讀會(確定議)

第一讀會(確定議)

第一讀會(確定議)

第一讀會(確定議)

午後四時二十四分散會

○依光好秋君 直チニ六案ノ第一讀會ヲ開
キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通
知可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(田子一民君) 依光君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

衆議院議事速記録第八號中正誤

以上日本醫療團ノ重要ナル問題ニ關シマ
ス

一三一 四二九 三千万圓ヲ 正
六千万圓ニ 三千万圓ニ 正

官報號外

昭和二七年二月四日

衆議院議事速記録 第九號

一五八